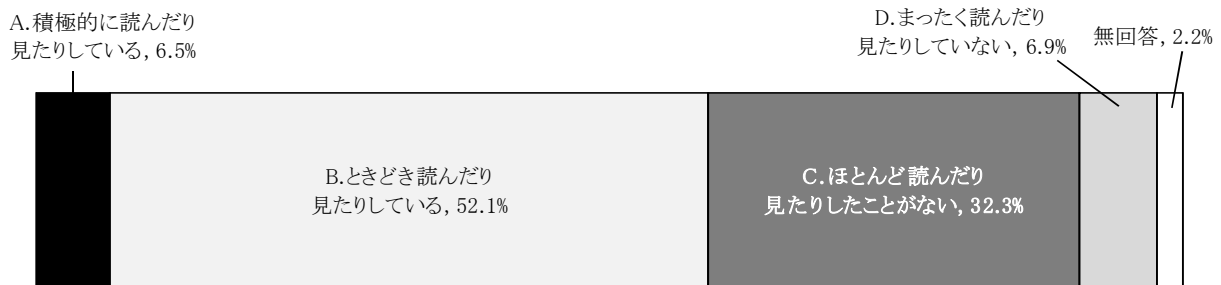


問 8-①（啓発物を読んだり見たりした経験）

人権問題に関しては県や市町村の広報誌や新聞記事、映画・テレビ番組などを通じて啓発活動が行われていますが、これを読んだり見たりしたことがありますか。（ は1つだけ）



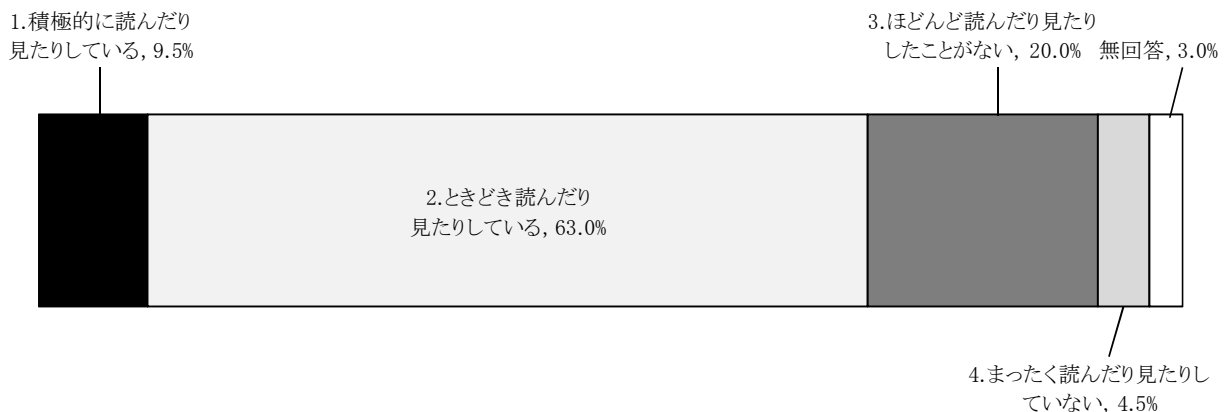
■人権問題に関して県や市町村が提供している広報誌等を「A. 積極的に読んだり見たりしている」、「B. ときどき読んだり見たりしている」は合わせて 58.6%となっている。

これに対し、「C. ほとんど読んだり見たりしたことがない」、「D. まったく読んだり見たりしていない」は合わせて 39.2%となっている。

【 参 考 】

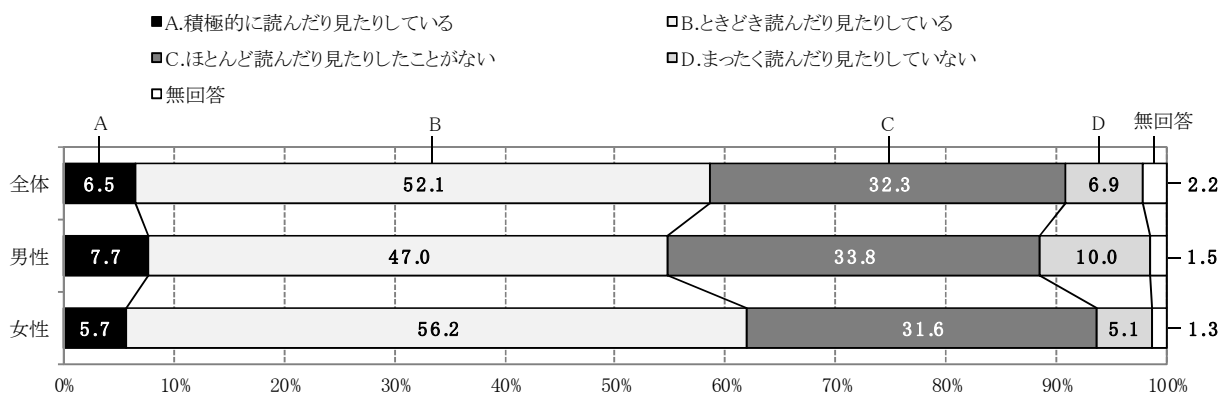
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 8- 人権問題に関しては県や市町村の広報誌や新聞記事、映画・テレビ番組などを通じて啓発活動が行われていますが、これを読んだり見たりしたことがありますか。（ は1つだけ）



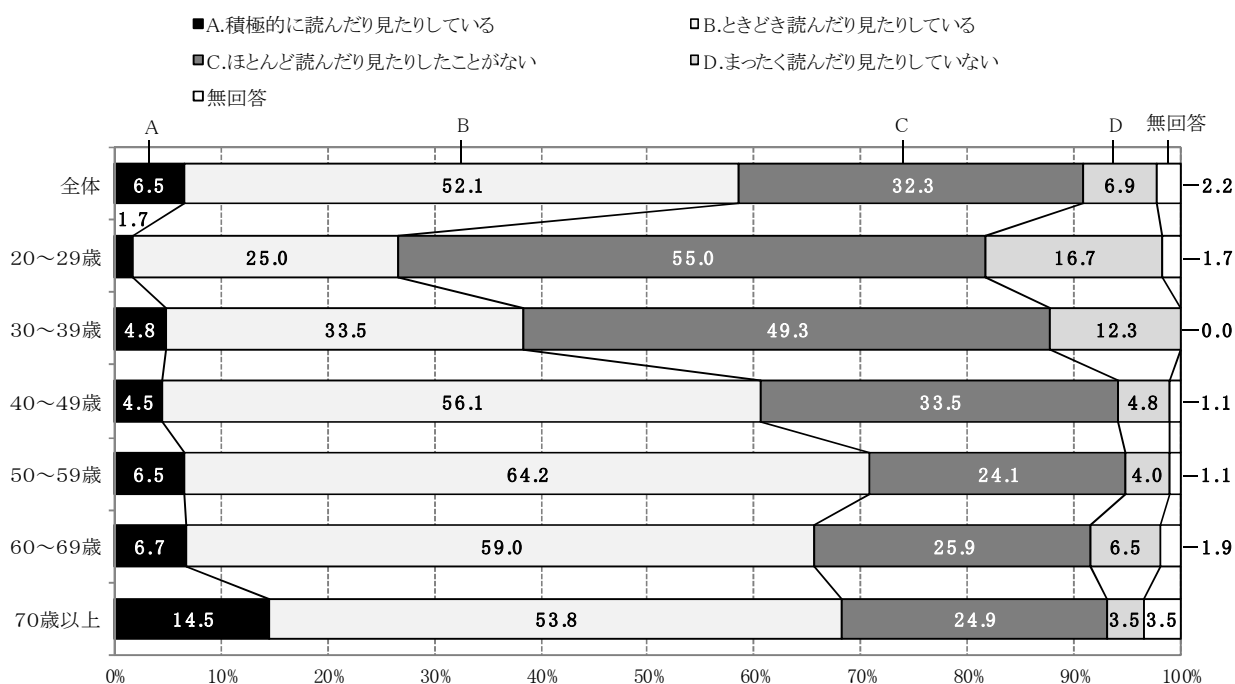
【性別・年齢との関係】

〔図 8-1〕 問 8-① 啓発物を読んだり見たりした経験 の関係



性別でみると〔図 8-1〕、「A.積極的に読んだり見たりしている」、「B.ときどき読んだり見たりしている」を合わせると、女性の割合が男性より高くなっている。また、「C.ほとんど読んだり見たりしたことがない」、「D.まったく読んだり見たりしていない」を合わせると、男性の割合が女性より高くなっている。

〔図 8-2〕 問 8-① 啓発物を読んだり見たりした経験 と 年齢 の関係

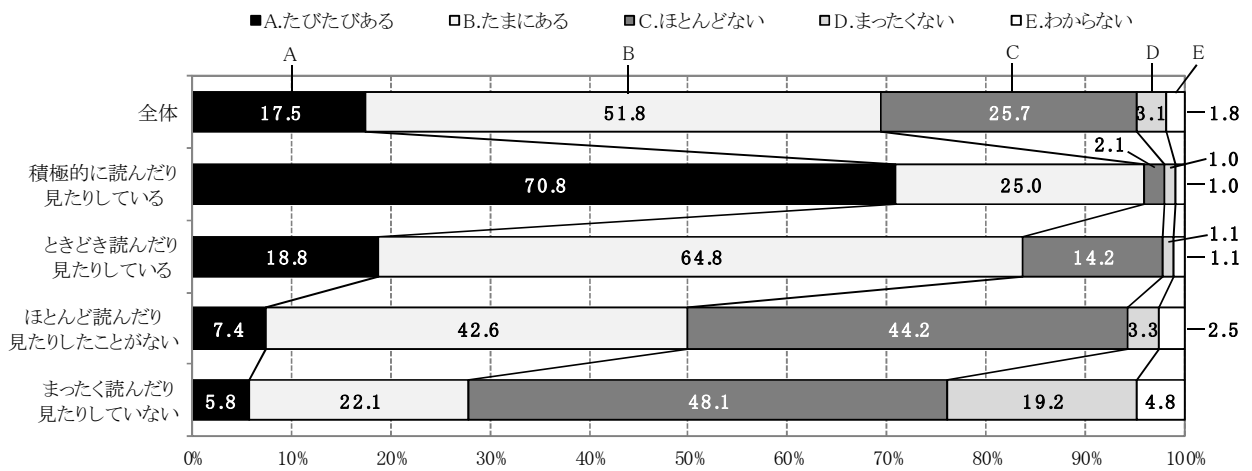


年齢別でみると〔図 8-2〕、「A.積極的に読んだり見たりしている」、「B.ときどき読んだり見たりしている」を合わせると、40歳代以上は6割以上となっているのに対し、20歳代、30歳代では4割以下となっている。

【他の設問との関係】

〔図 8-3〕 問 8-① 啓発物を読んだり見たりした経験 と

問 1 「人権」を身近に考えるかどうか の関係



問 1 (「人権」の身近さ)との関係では、啓発物を「積極的に読んだり見たりしている」、「ときどき読んだり見たりしている」〔図 8-3〕と回答した人ほど、人権を身近に考えることが「A. たびたびある」、「B. たまにある」と回答している。また、啓発物を「ほとんど読んだり見たりしたことがない」、「まったく読んだり見たりしていない」と回答した人ほど人権を身近に考えることが「C. ほとんどない」、「D. まったくない」と回答している。

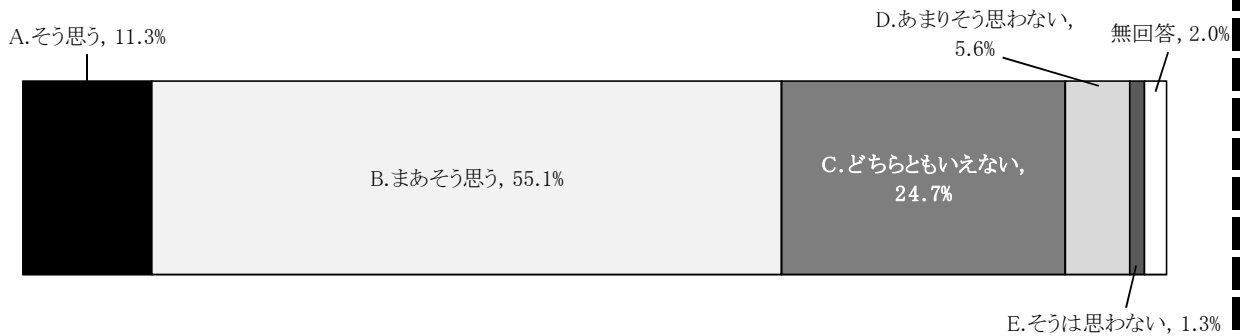
(注)

このページは、見開き表示のために挿入した空白ページです。

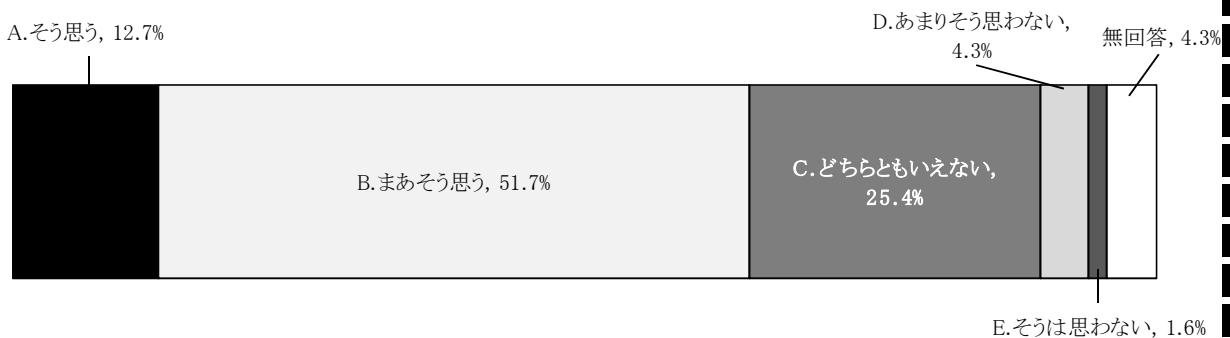
問 8-②（啓発物に対する感想）

問 8- で「積極的に読んだり見たりしている」又は「ときどき読んだり見たりしている」と回答された方におたずねします。県や市町村の広報誌を読まれてどのように感じましたか。それぞれについて、あなたの考えに近いものをお答えください。（ は1つだけ）

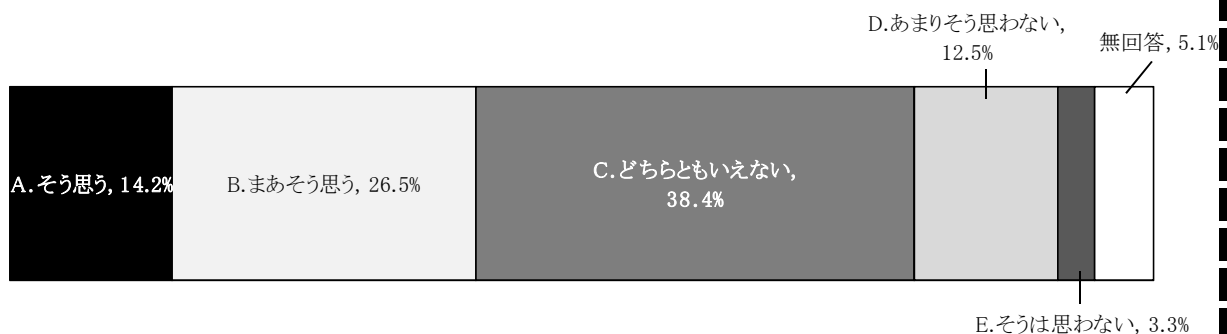
【わかりやすい】



【共感できる】



【もっと増やすべき】



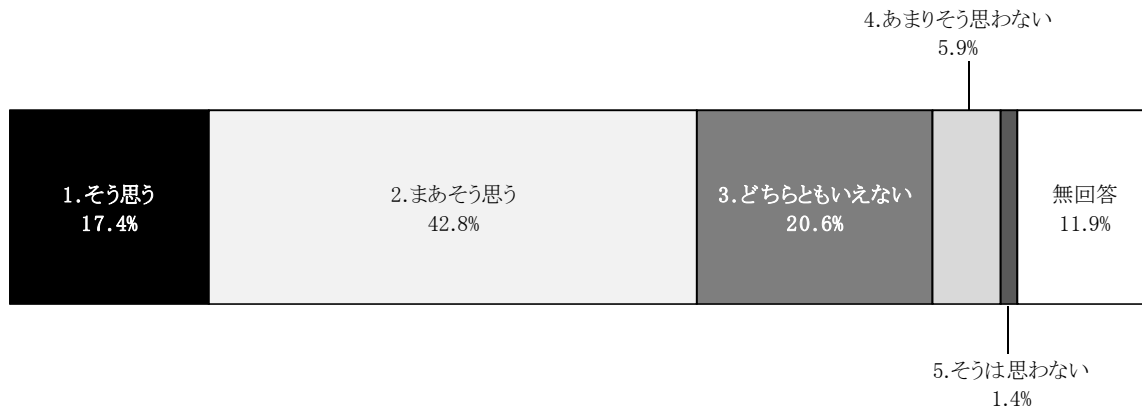
■県や市町村が発行している広報誌について、「わかりやすい※」と感じている人は66.4%、「共感できる※」と感じている人は64.4%、「もっと増やすべき※」と感じている人は40.7%となっている。（※「A. そう思う」、「B. まあそう思う」の計。）

【参考】

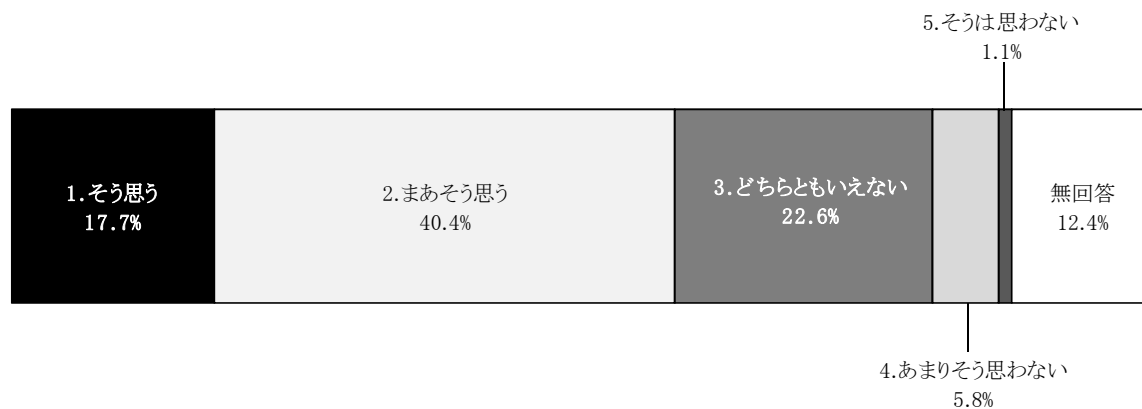
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 8- 前問 8- で人権問題に関する「県や市町村の広報誌や新聞記事、映画・テレビ番組など」を「積極的に」又は「ときどき見たり読んだりする」と回答された方にお尋ねします。県や市町村の広報誌を読まれて、どのように感じましたか。それぞれについて、あなたの考えに近い番号に をしてください。

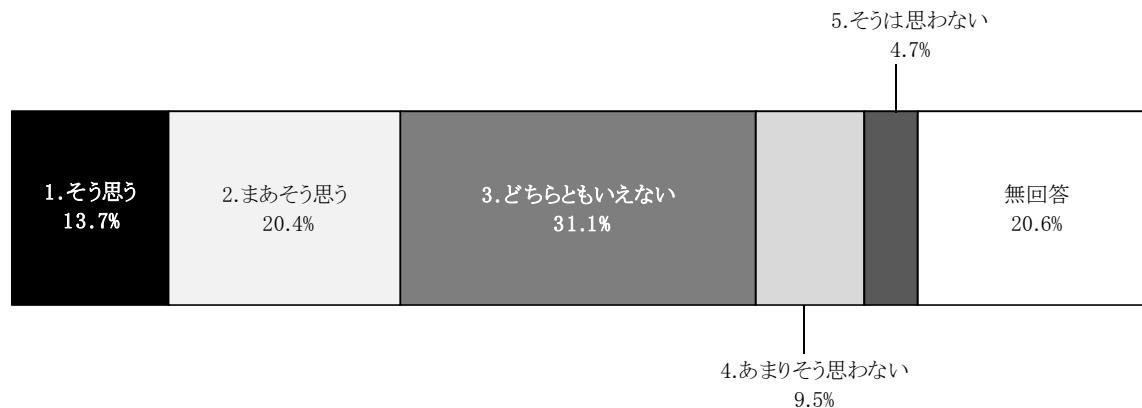
【わかりやすい】



【共感できる】

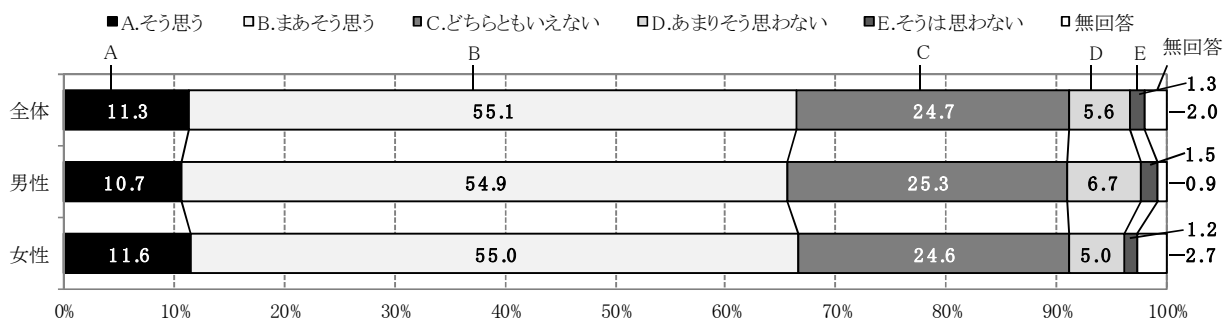


【もっと増やすべき】



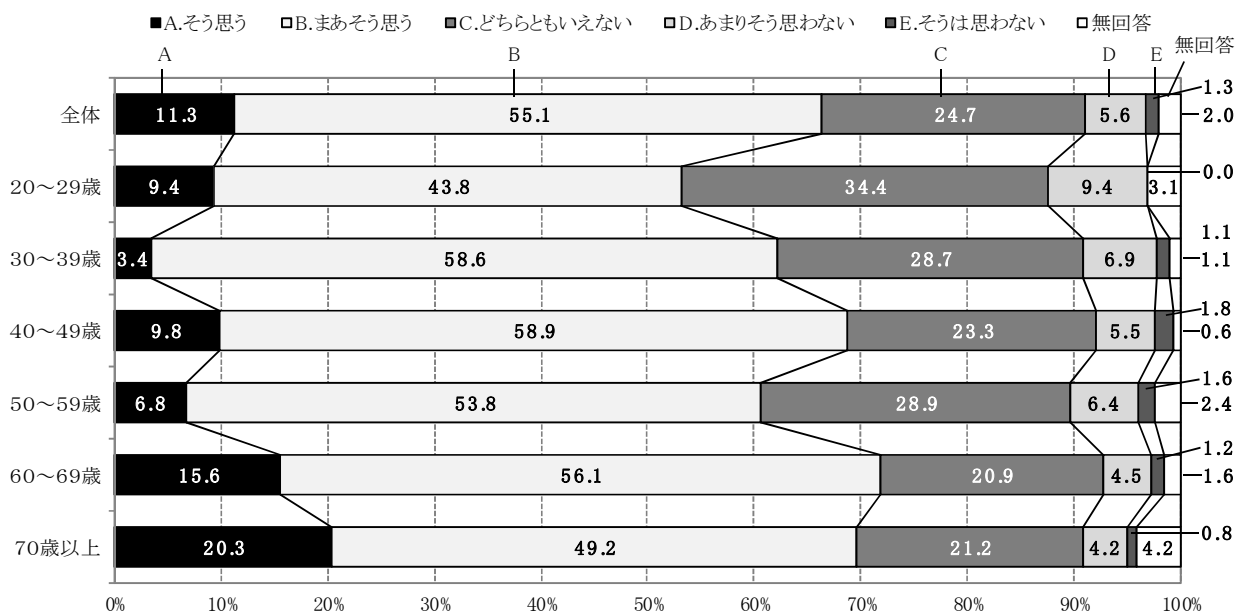
【性別・年齢との関係】

〔図 8-4〕 問 8-② 啓発物に対する感想「わかりやすい」と性別の関係



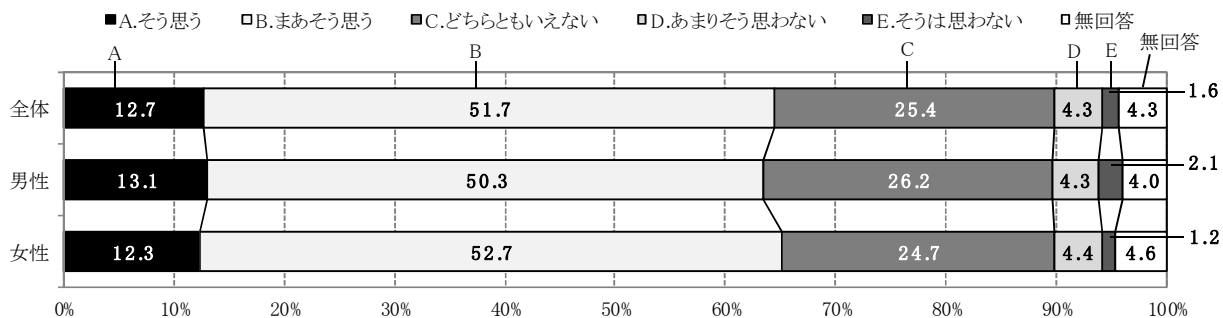
性別でみると〔図 8-4〕、「A. そう思う」、「B. まあそう思う」を合わせると男性が 65.6%、女性は 66.6%となっており、大きな差はなかった。

〔図 8-5〕 問 8-② 啓発物に対する感想「わかりやすい」と年齢の関係



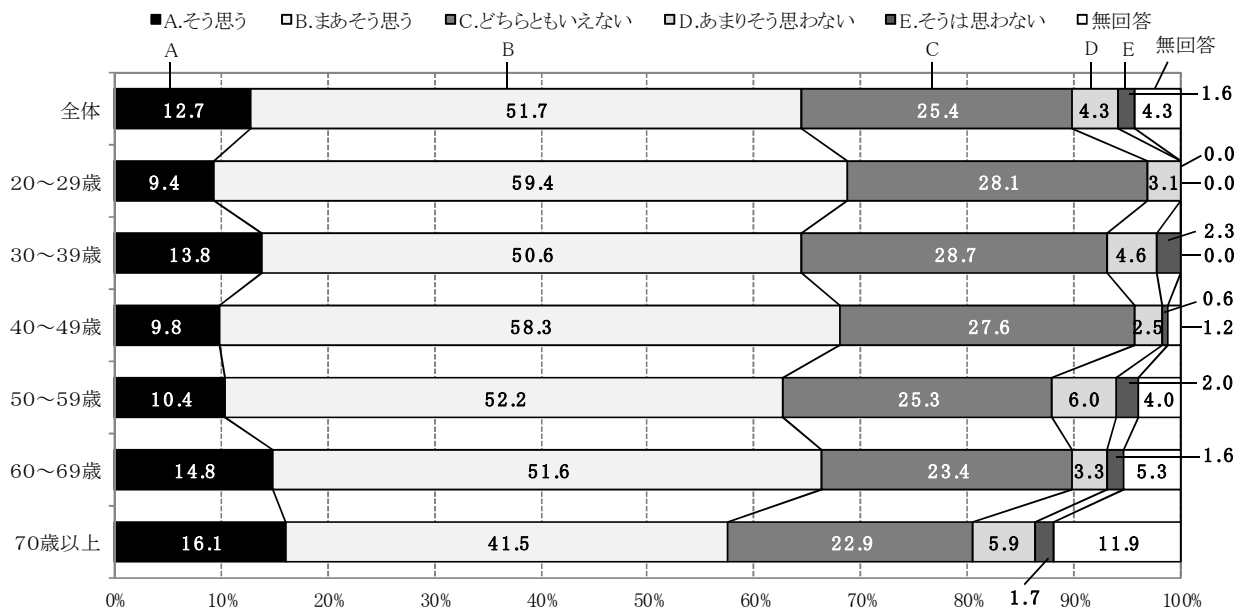
年齢別でみると〔図 8-5〕、「A. そう思う」、「B. まあそう思う」を合わせると、60 歳代が 71.7%と最も高く、次に 70 歳以上 69.5%、40 歳代 68.7%と続く。

〔図 8-6〕 問 8-② 啓発物に対する感想「共感できる」と性別の関係



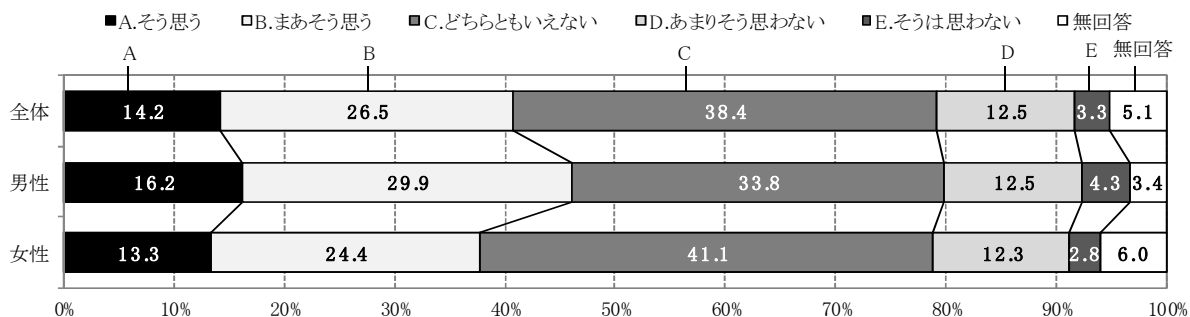
性別でみると〔図 8-6〕、「A. そう思う」、「B. まあそう思う」を合わせると、男性と女性ではほぼ同じ割合となっている（男性 63.4%、女性 65.0%）。

〔図 8-7〕 問 8-② 啓発物に対する感想—共感できる— と 年齢 の関係



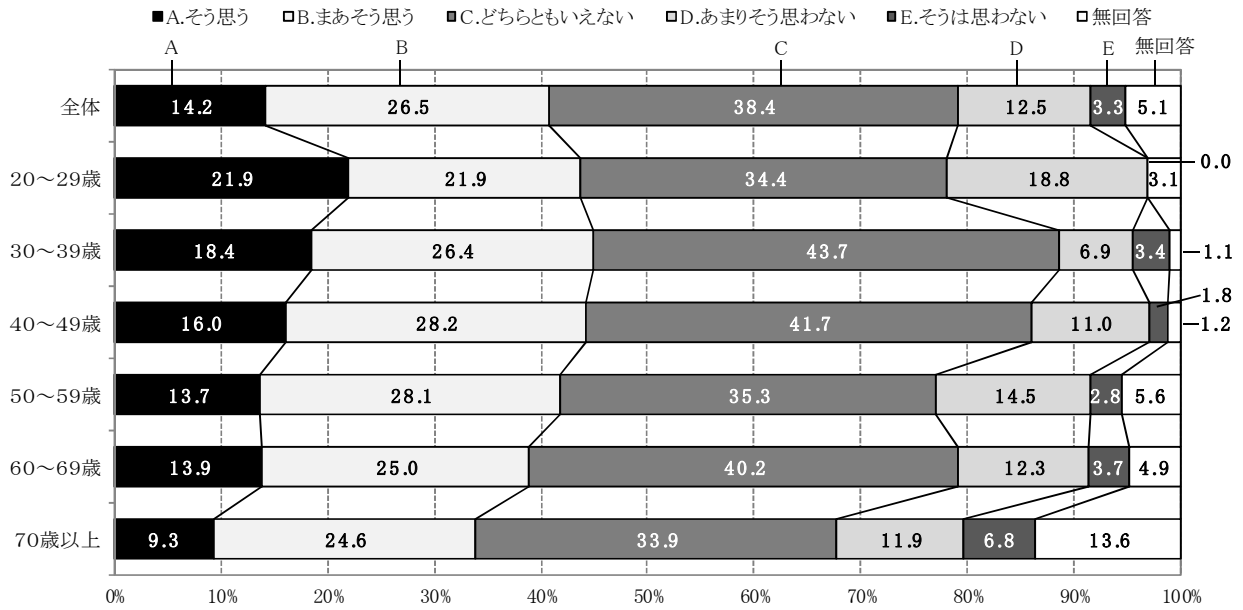
年齢別でみると〔図 8-7〕、「A. そう思う」、「B. まあそう思う」を合わせると、最も高いのは 20 歳代の 68.8%。最も低いのは 70 歳以上の 57.6%。

〔図 8-8〕 問 8-② 啓発物に対する感想—もっと増やすべき— と 性別 の関係



性別でみると〔図 8-8〕、「A. そう思う」、「B. まあそう思う」を合わせると、男性（46.1%）、女性（37.7%）と男性が女性を上回っている。

〔図 8-9〕 問 8-② 啓発物に対する感想—もっと増やすべき—と年齢の関係

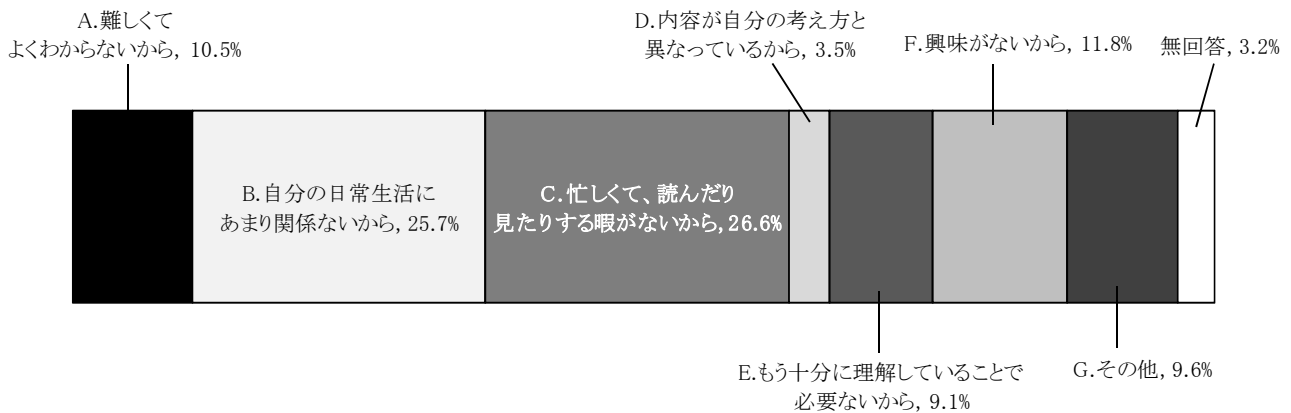


年齢別でみると〔図 8-9〕、「A. そう思う」、「B. まあそう思う」を合わせると、30 歳代が最も高く、44.8%、次いで 20 歳代の 43.8% となっている。また、「C. どちらともいえない」という回答が各年齢層ともに 3 分の 1 を超えている。

「D. あまりそう思わない」、「E. そうは思わない」を合わせると、20 歳代が最も高く 18.8% となっており、次いで 70 歳以上が 18.7% となっている。

問 8-③（啓発物を読んだり見たりしない理由）

問 8- で「ほとんど読んだり見たりしたことがない」又は「まったく読んだり見たりしていない」と回答された方におたずねします。あなたが広報誌などを読んだり見たりしないのはなぜですか。（ は1つだけ）

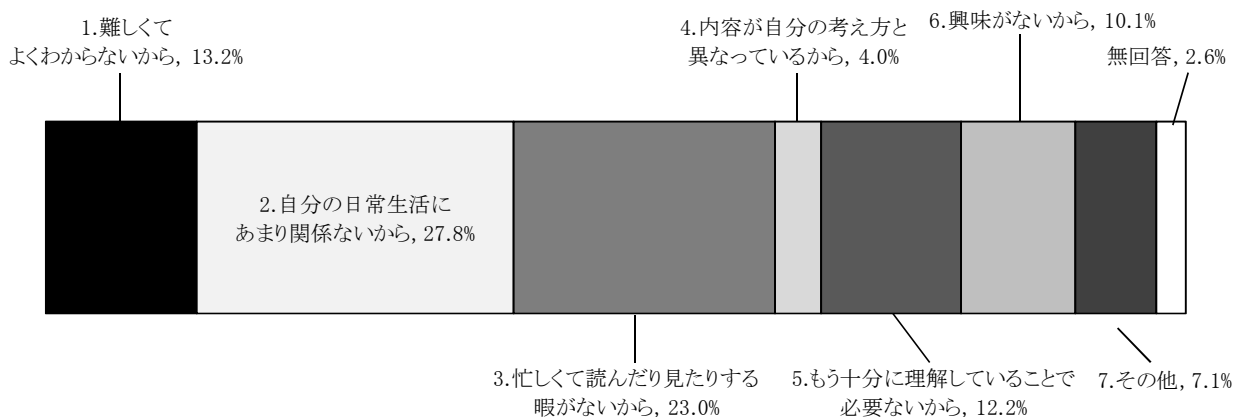


■県や市町村が作成している人権に関する啓発物を読んだり見たりしない理由は、「C. 忙しくて、読んだり見たりする暇がないから」（26.6%）が最も高い。次いで「B. 自分の日常生活にあまり関係ないから」（25.7%）、「F. 興味がないから」（11.8%）、「A. 難しくてよくわからないから」（10.5%）の順。

【 参 考 】

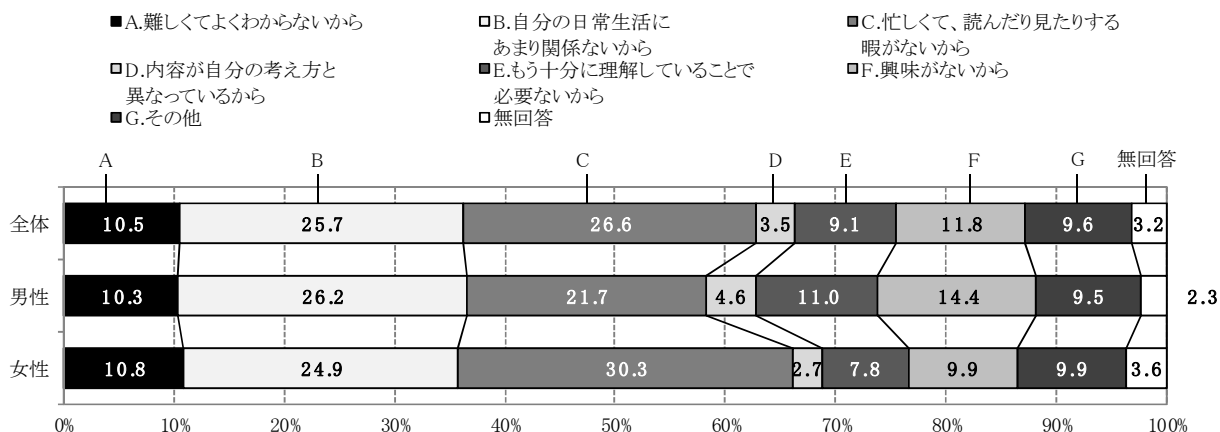
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 8- 問 8- で人権問題に関する「県や市町村の広報誌や新聞記事、映画・テレビ番組など」を「ほとんど」又は「まったく見たり読んだりしない」と回答された方にお尋ねします。あなたが広報誌などを読んだり見たりしないのはなぜですか。（ は1つだけ）



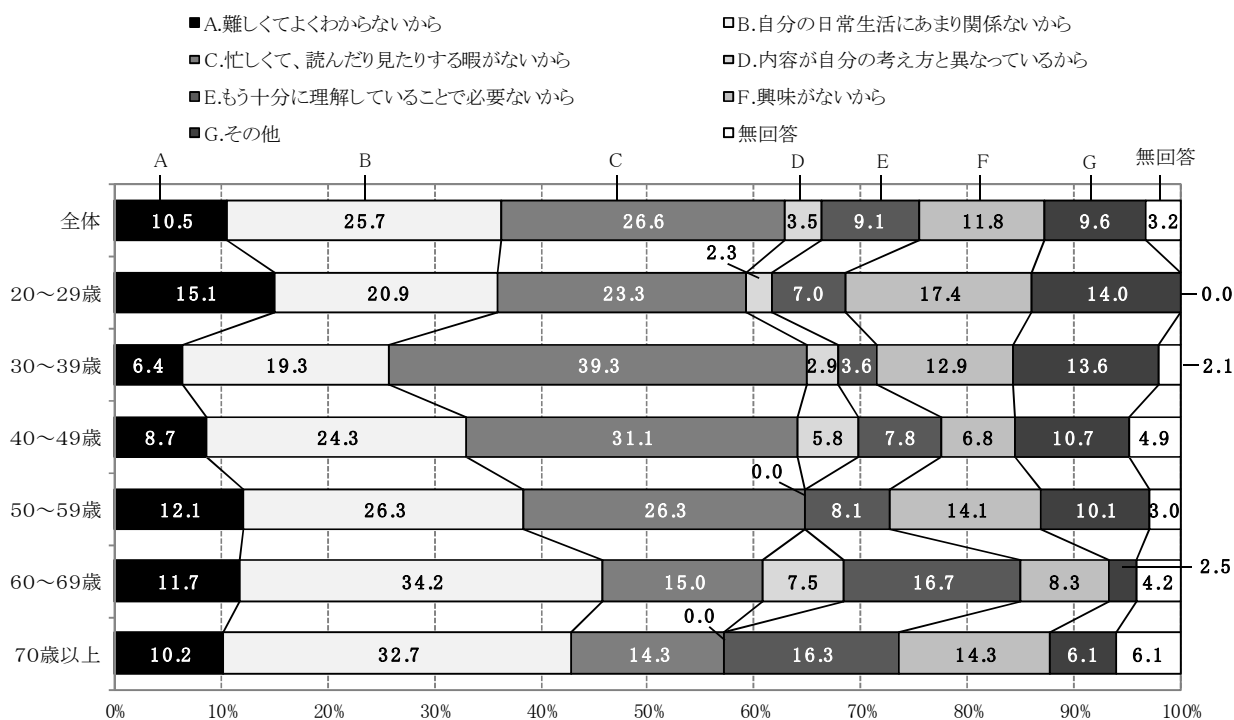
【性別・年齢との関係】

〔図 8-10〕 問 8-③ 啓発物を読んだり見たりしない理由 と 性別 の関係



性別でみると〔図 8-10〕、男性では「B.自分の日常生活にあまり関係ないから」(26.2%)、女性では「C.忙しくて、読んだり見たりする暇がないから」(30.3%)が最も高くなっている。

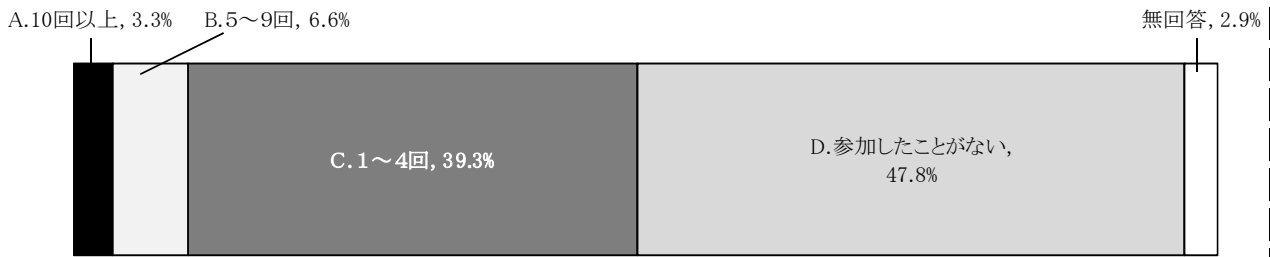
〔図 8-11〕 問 8-③ 啓発物を読んだり見たりしない理由 と 年齢 の関係



年齢別で見ると〔図 8-11〕、20歳代から40歳代までは「C.忙しくて、読んだり見たりする暇がないから」が最も高く、50歳代では「B.自分の日常生活にあまり関係ないから」がこれに並んでいる。また、60歳以上では「B.自分の日常生活にあまり関係ないから」が最も高く、また、他の年齢層に比べ「E.もう十分に理解していることで必要ないから」の比率が高い。

問 9-①（研修会等への参加回数）

過去3年ぐらいの間に人権問題に関する講演会や研修会に何回くらい参加しましたか。（は1つだけ）

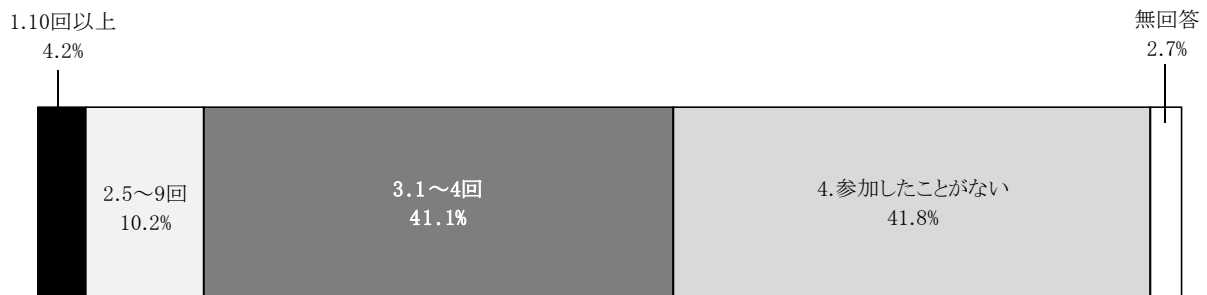


■過去3年間に人権問題に関する研修会等へ参加したことがある人は49.2%。

【参考】

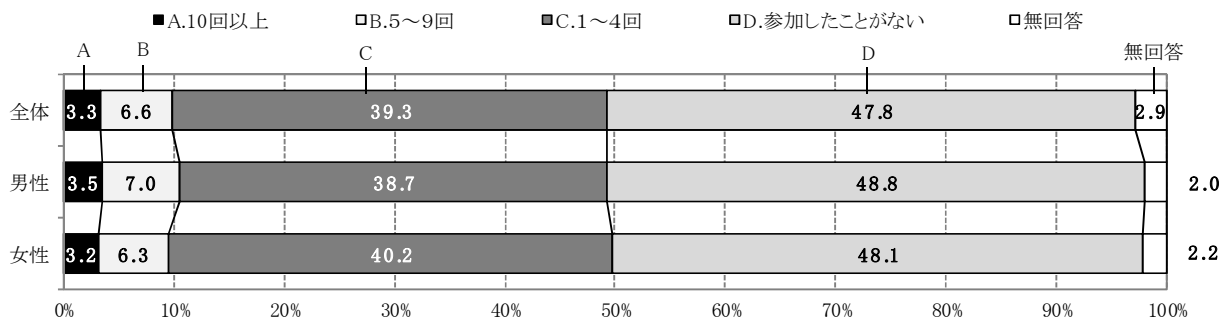
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 9- 過去3年ぐらいの間に人権問題に関する講演会や研修会に何回ぐらい参加しましたか。（は1つだけ）



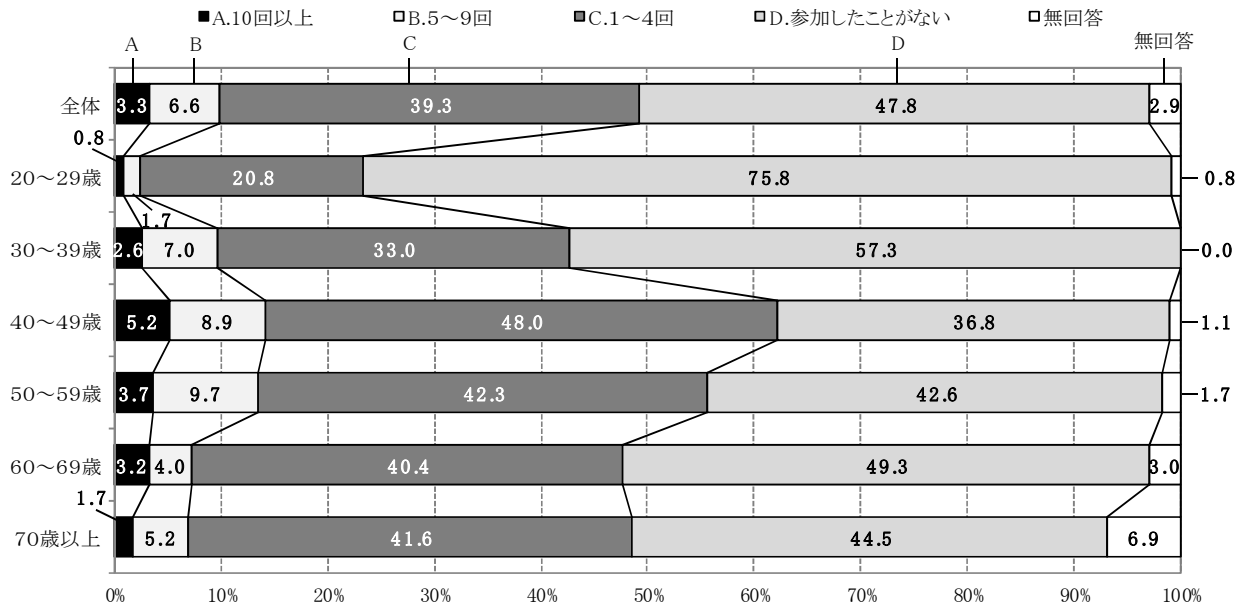
【性別・年齢・職業との関係】

〔図 9-1〕 問 9-① 研修会等への参加回数 と 性別 の関係



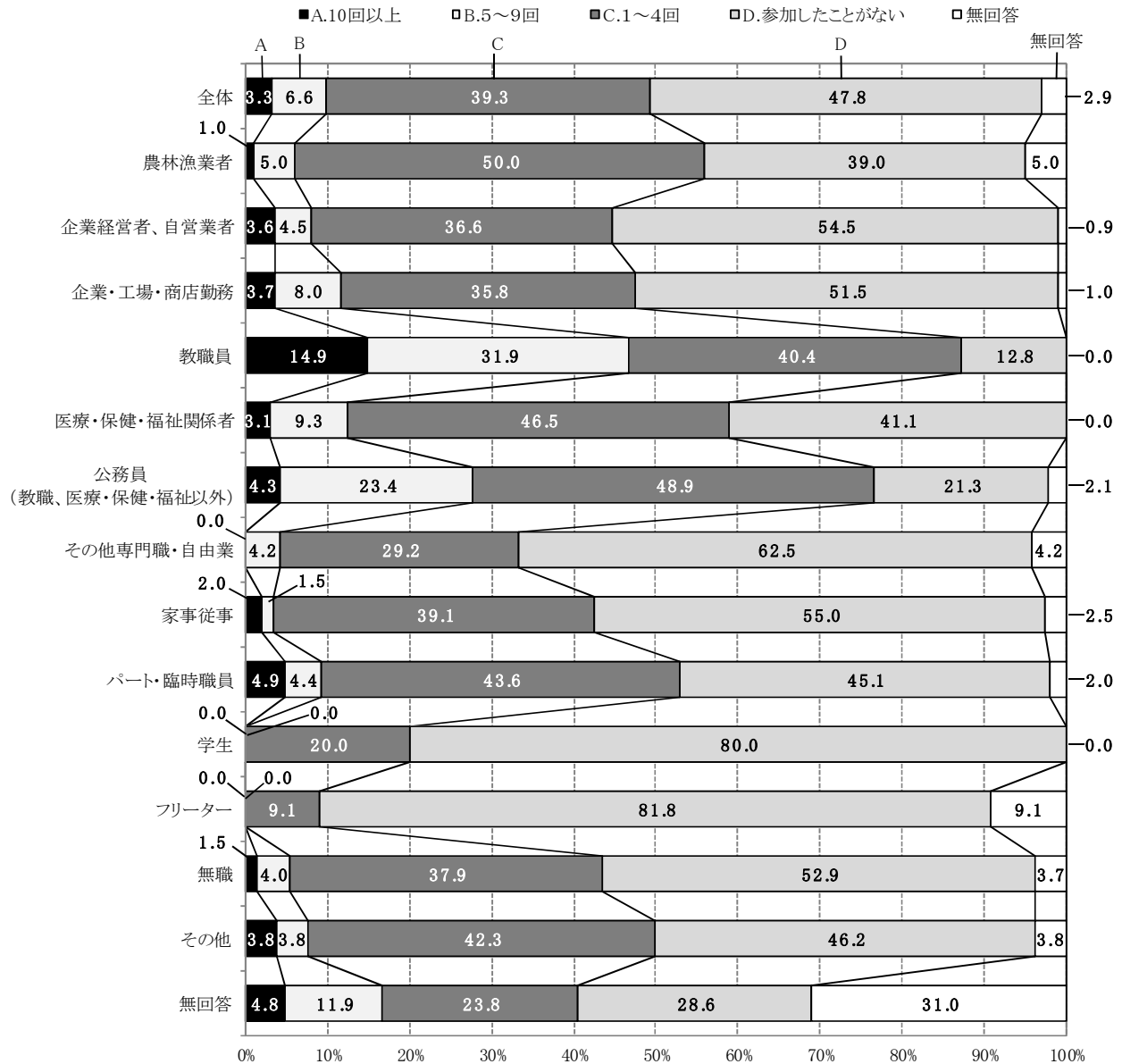
性別でみると〔図 9-1〕、過去3年ぐらいの間に1回以上研修会等へ参加したことがあると回答した人の割合は、男性が49.2%、女性が49.7%となっており、あまり差がない。

〔図 9-2〕 問 9-① 研修会等への参加回数 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 9-2〕、過去 3 年ぐらいの間に 1 回以上研修会へ参加したことがあると回答した人の割合は、40 歳代（62.1%）が最も高く、次いで 50 歳代（55.7%）、70 歳以上（48.5%）、60 歳代（47.6%）、30 歳代（42.6%）の順となっている。また、最も低い 20 歳代は 23.3%にとどまる。

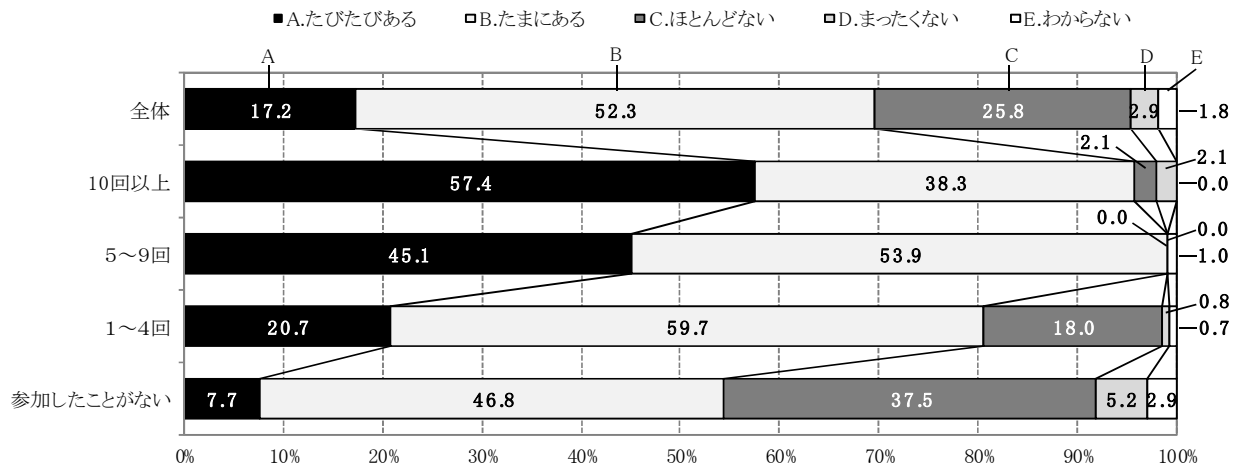
〔図 9-3〕 問 9-① 研修会等への参加回数 と 職業 の関係



職業別でみると〔図 9-3〕、過去 3 年ぐらいの間に 1 回以上研修会等へ参加したことがあると回答した人の割合が最も高いのは、「教職員」で 87.2% に上る。次いで、「公務員（教職、医療・保健・福祉以外）」（76.6%）となっている。最も低いのは「フリーター」（9.1%）次いで「学生」（20.0%）となっており、「フリーター」と「学生」の 8 割以上が「参加したことがない」と回答している。

【他の設問との関係】

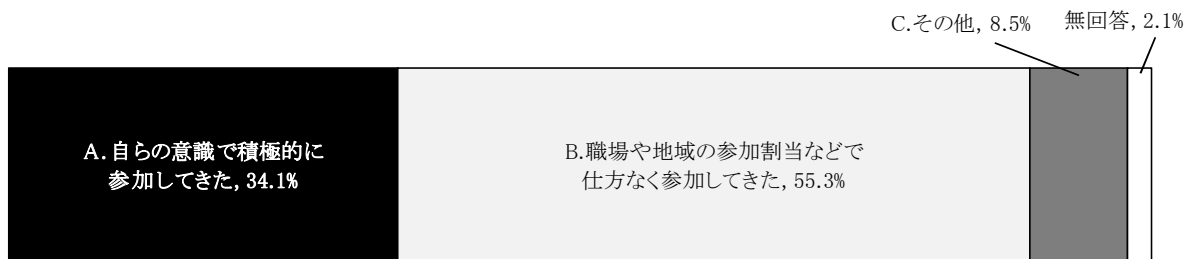
〔図 9-4〕 問 9-① 研修会の参加回数 と 問 1 「人権」の身近さ の関係



問 1（「人権」の身近さ）との関係では、研修会に 1 回以上参加した人では「A. たびたびある」、「B. たまにある」〔図 9-4〕が高くなっており、「参加したことがない」と回答した人は「C. ほとんどない」、「D. まったくない」が高くなっている。

問 9-②（研修会への参加理由）

問 9- で「10 回以上」「5～9 回」「1～4 回」を選択された方におたずねします。それはどのような意識で参加しましたか。（ は 1 つだけ）

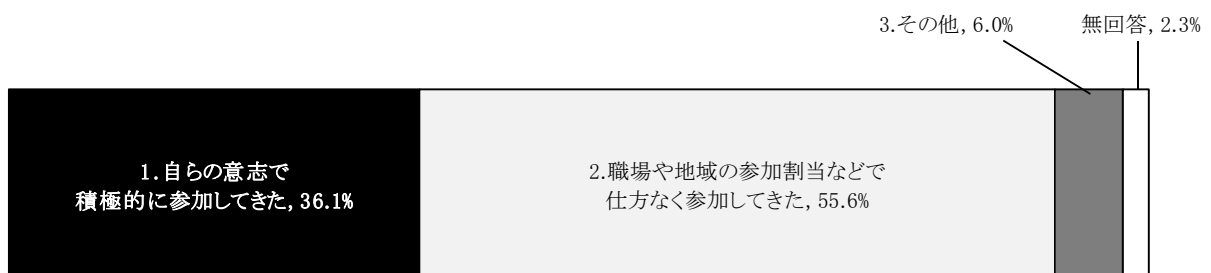


■ 研修会等へ参加した理由は、「B. 職場や地域の参加割当などで仕方なく参加してきた」（55.3%）が最も高い。次いで「A. 自らの意思で積極的に参加してきた」（34.1%）となっている。

【参考】

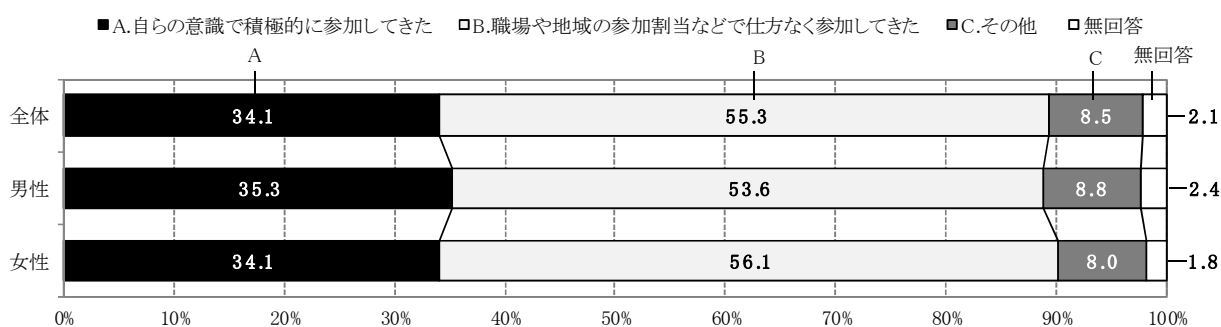
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 9- 問 9- で過去 3 年間に人権問題研修に「参加したことがある」と回答した方にお尋ねします。それはどのような意識で参加しましたか。（ は 1 つだけ）



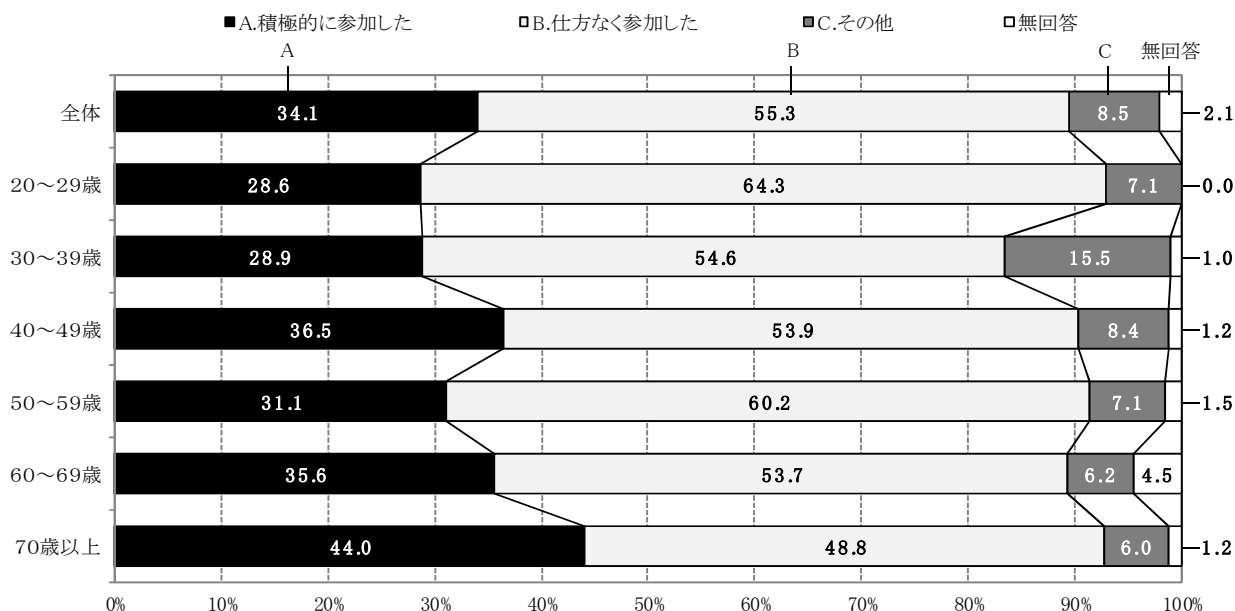
【性別・年齢の関係】

〔図 9-5〕 問 9-② 研修会への参加理由 と 性別 の関係



性別で見ると〔図 9-5〕、男女とも「A.自らの意識で積極的に参加してきた」は約 3 分の 1、「B.職場や地域の参加割当などで仕方なく参加してきた」は約 5 割となっており、あまり差はない。

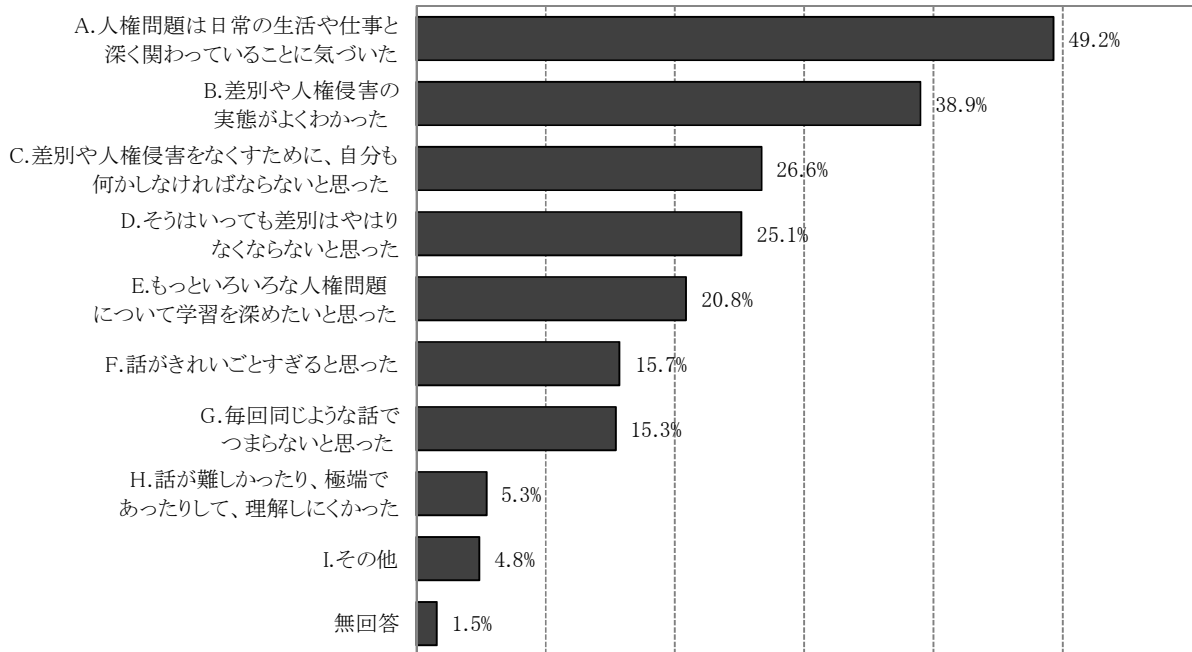
〔図 9-6〕 問 9-② 研修会への参加理由 と 年齢 の関係



年齢別で見ると〔図 9-6〕「A.自らの意識で積極的に参加してきた」は、高い順に 70 歳以上 44.0%、40 歳代 36.5%、60 歳代 35.6%、50 歳代 31.1%、30 歳代 28.9%、20 歳代 28.6%となっている。ただ、各年代でおおむね 5 割以上が「B.職場や地域の参加割当などで仕方なく参加してきた」となっている。

問 9-③（研修会へ参加した感想）

同じく問 9- で「10 回以上」「5～9 回」「1～4 回」を選択された方におたずねします。人権問題についての講演会や研修会に参加されてどのような感想を持たれましたか。あなたの考えに近いものをお答えください。（ は 3 つ以内）

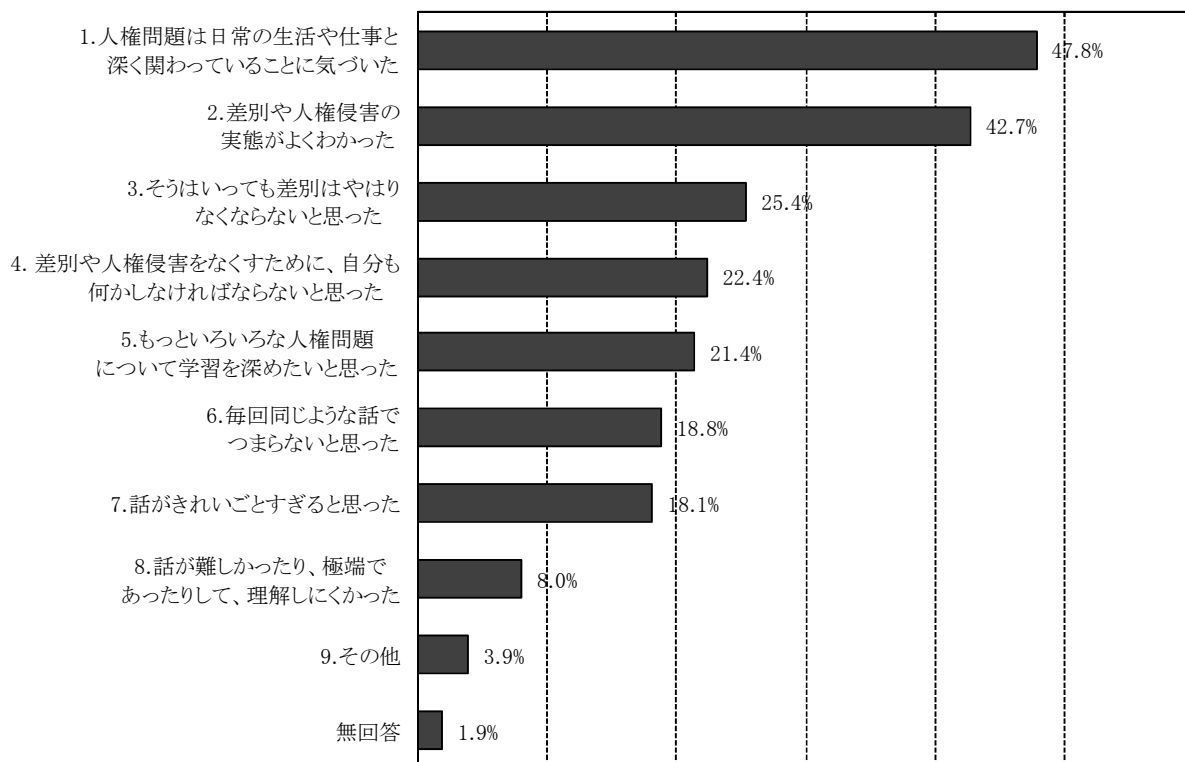


■研修会等へ参加し感じたことは、「A. 人権問題は日常の生活や仕事と深く関わっていることに気づいた」（49.2%）が最も高い。次いで「B. 差別や人権侵害の実態がよくわかった」（38.9%）、「C. 差別や人権侵害をなくすために、自分も何かしなければならなかった」（26.6%）となっている。他方、「D. そうはいつでも差別はやはりなくならないと思った」と回答した人も 25.1%に上る。

【 参 考 】

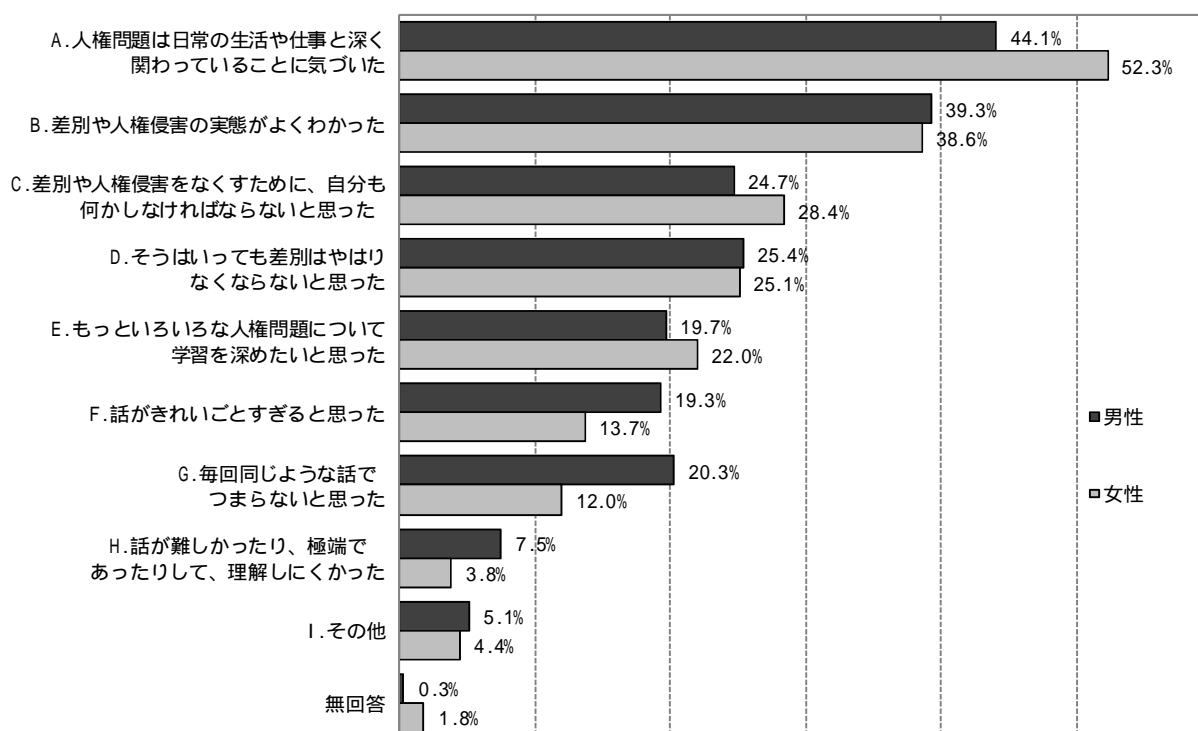
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 9- 同じく問 9- で過去 3 年間に人権問題研修に「参加したことがある」と回答された方にお尋ねします。人権問題についての講演会や研修会に参加されて、どのような感想を持たれましたか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。（ は 3 つ以内）



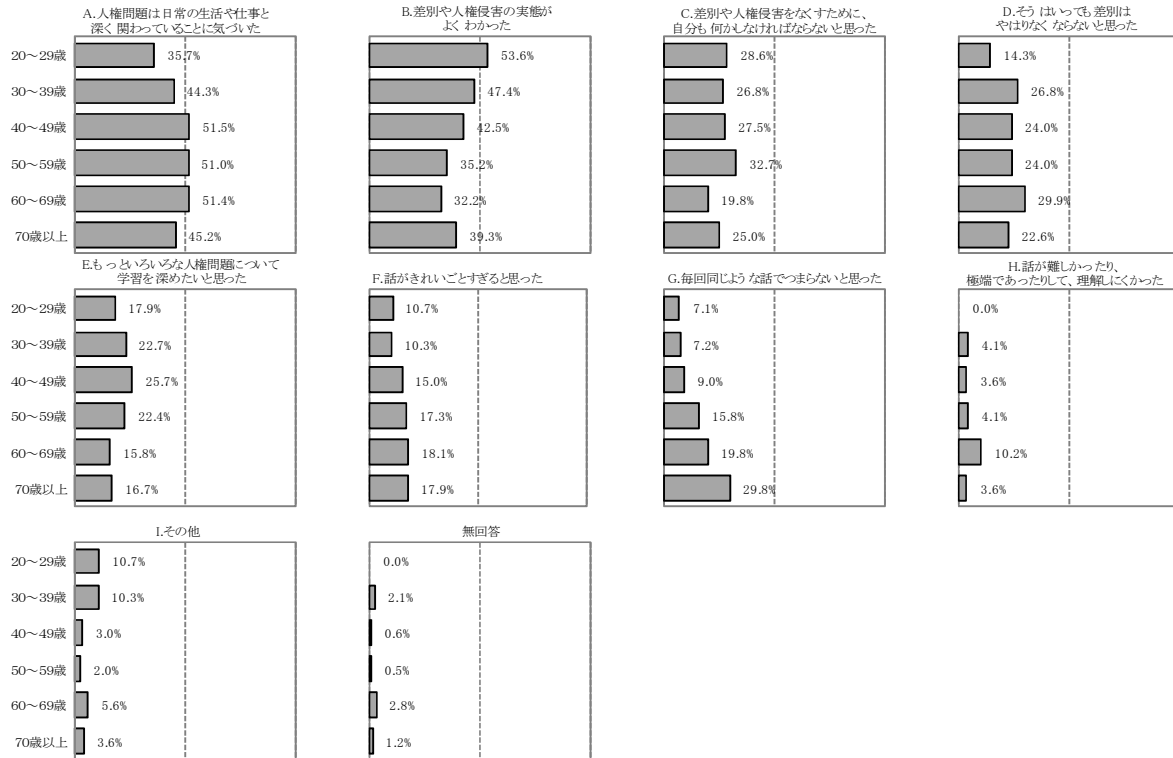
【性別・年齢の関係】

〔図 9-7〕 問 9-③ 研修会へ参加した感想 と 性別 の関係



性別でみても〔図 9-7〕、「A. 人権問題は日常の生活や仕事と深く関わっていることに気づいた」が男女ともに最も高く、また、女性の回答率が男性を大幅に上回っている。次いで男女ともに「B. 差別や人権侵害の実態がよくわかった」が高くなっている。

〔図 9-8〕 問 9-③ 研修会へ参加した感想 と 年齢 の関係

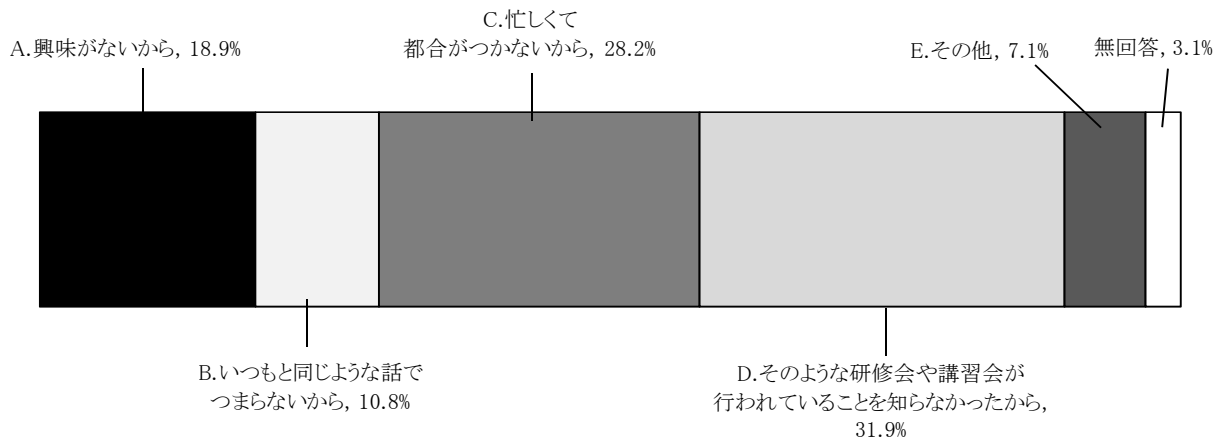


年齢別でみると〔図 9-8〕、「B. 差別や人権侵害の実態がよくわかった」は、20 歳代で 53.6%と最も高く、60 歳代まで順に低くなってる。

また、「A. 人権問題は日常の生活や仕事と深く関わっていることに気づいた」は 40 歳代から 60 歳代で 5 割以上となっている。

問 9-④（研修会へ参加しなかった理由）

問 9- で「参加したことがない」を選択された方におたずねします。参加されなかったのはなぜですか。（ は1つだけ）

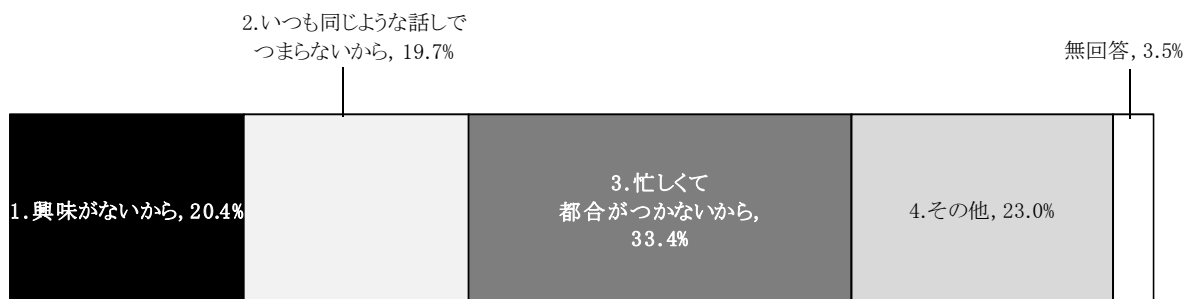


■研修会等に参加しなかった理由は、「D. そのような研修会や講習会が行われていることを知らなかったから」(31.9%)が最も高い。次いで「C. 忙しくて都合が見つからないから」(28.2%)、「A. 興味がないから」(18.9%)の順。

【参考】

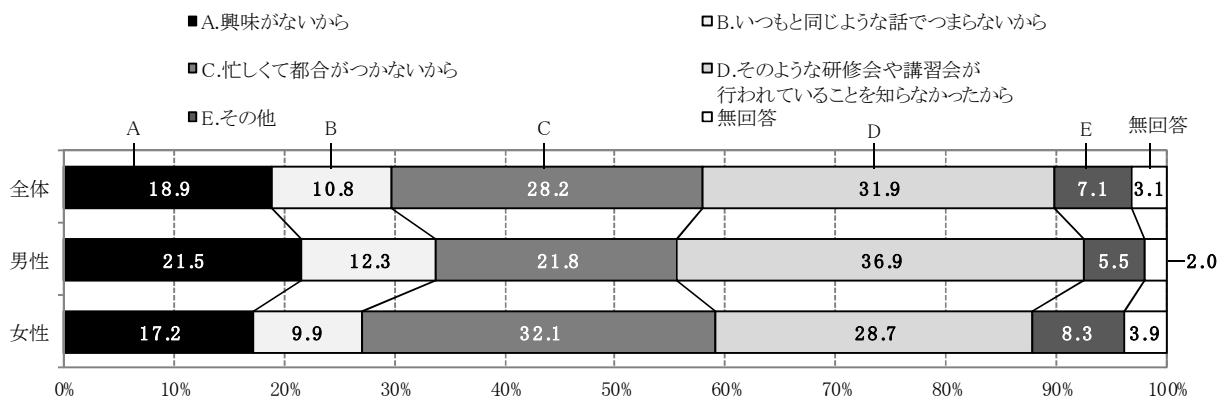
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 9- 問 9- で過去3年間に人権問題研修に「参加したことがない」と回答された方にお尋ねします。参加されなかったのはなぜですか。（ は1つだけ）



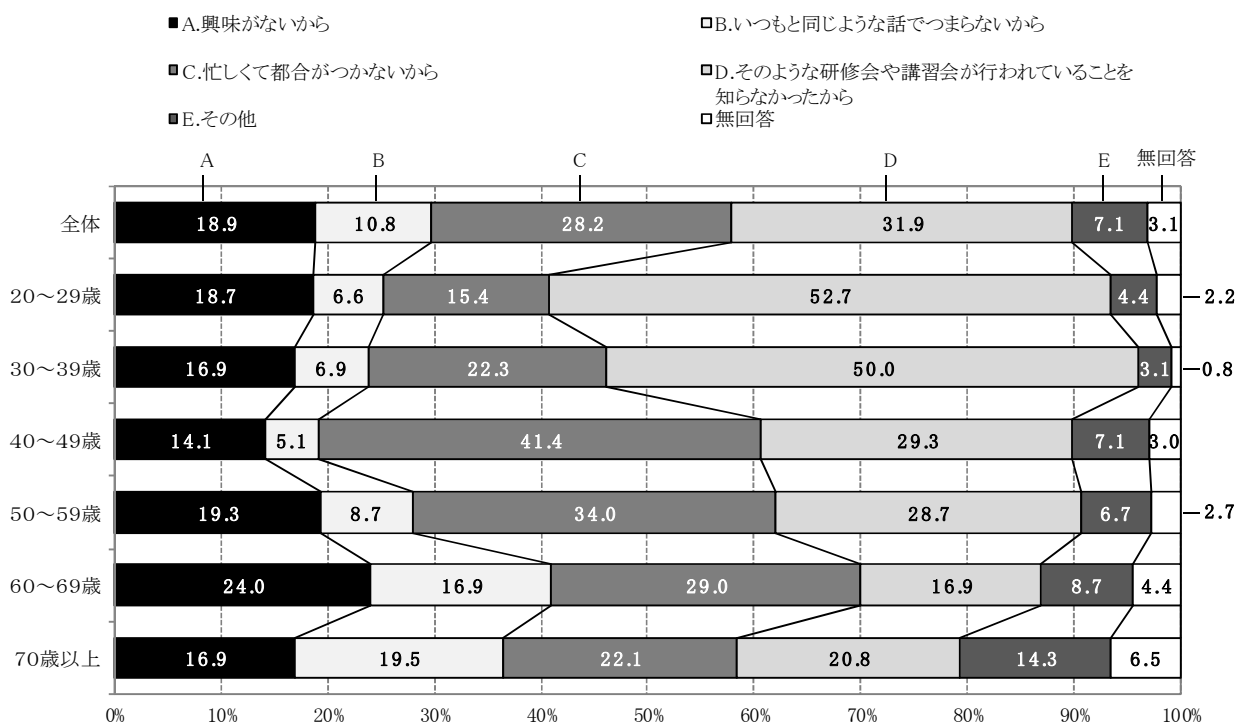
【性別・年齢との関係】

〔図 9-9〕 問 9-④ 研修会へ参加しなかった理由 と 性別 の関係



性別でみると〔図 9-9〕、男性では「D.そのような研修会や講習会が行われていることを知らなかったから」が最も高く、女性では「C.忙しくて都合がつかないから」が最も高くなっている。

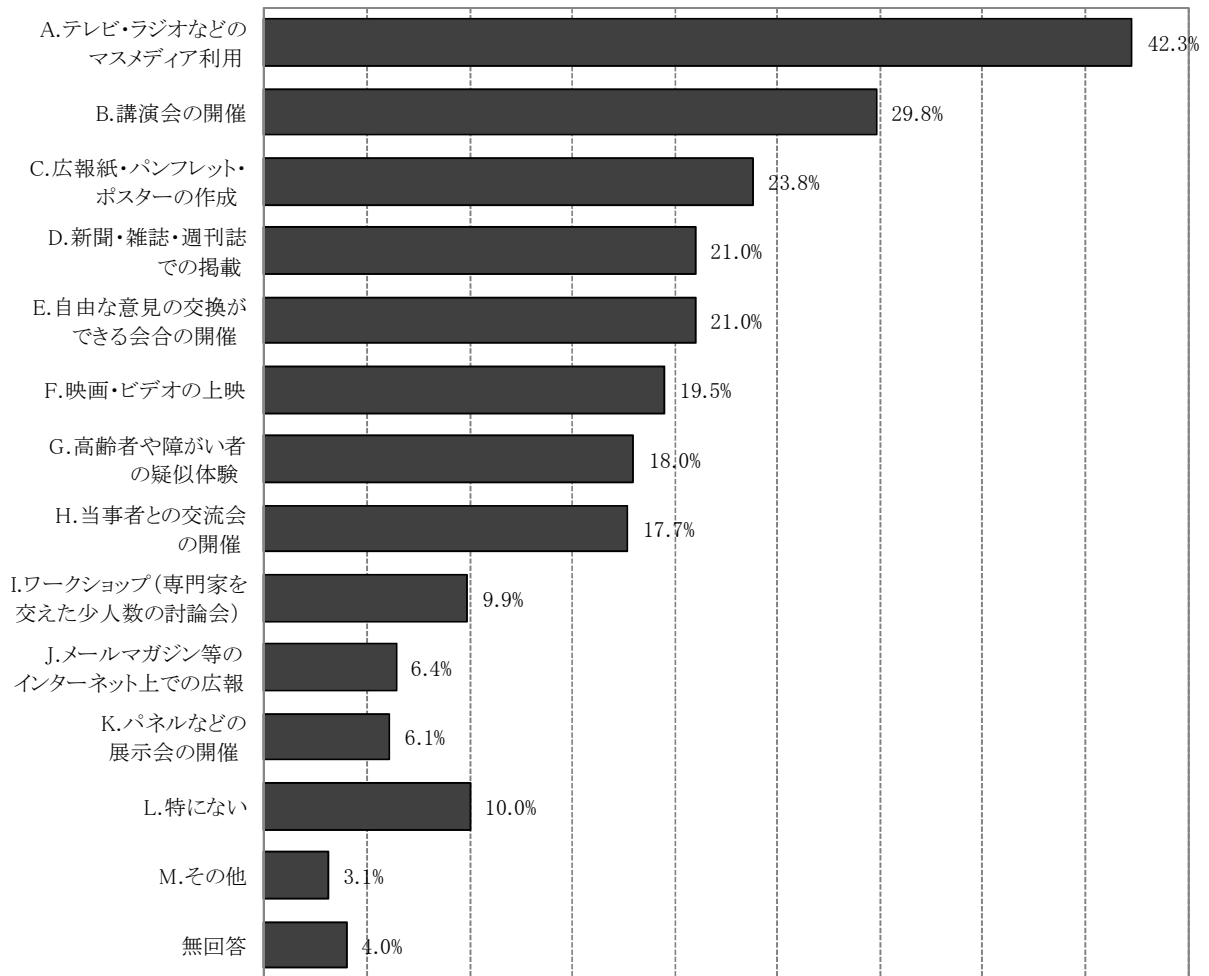
〔図 9-10〕 問 9-④ 研修会へ参加しなかった理由 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 9-10〕、20歳代と30歳代では「D.そのような研修会や講習会が行われていることを知らなかったから」が5割以上と高くなっており、40歳代と50歳代では「C.忙しくて都合がつかないから」が高くなっている。

問 10 (人権問題への理解を深めるために必要な啓発手法)

県民が人権問題について理解を深めるために、どのような手法での啓発活動が重要だと思いますか。(はいくつでも)

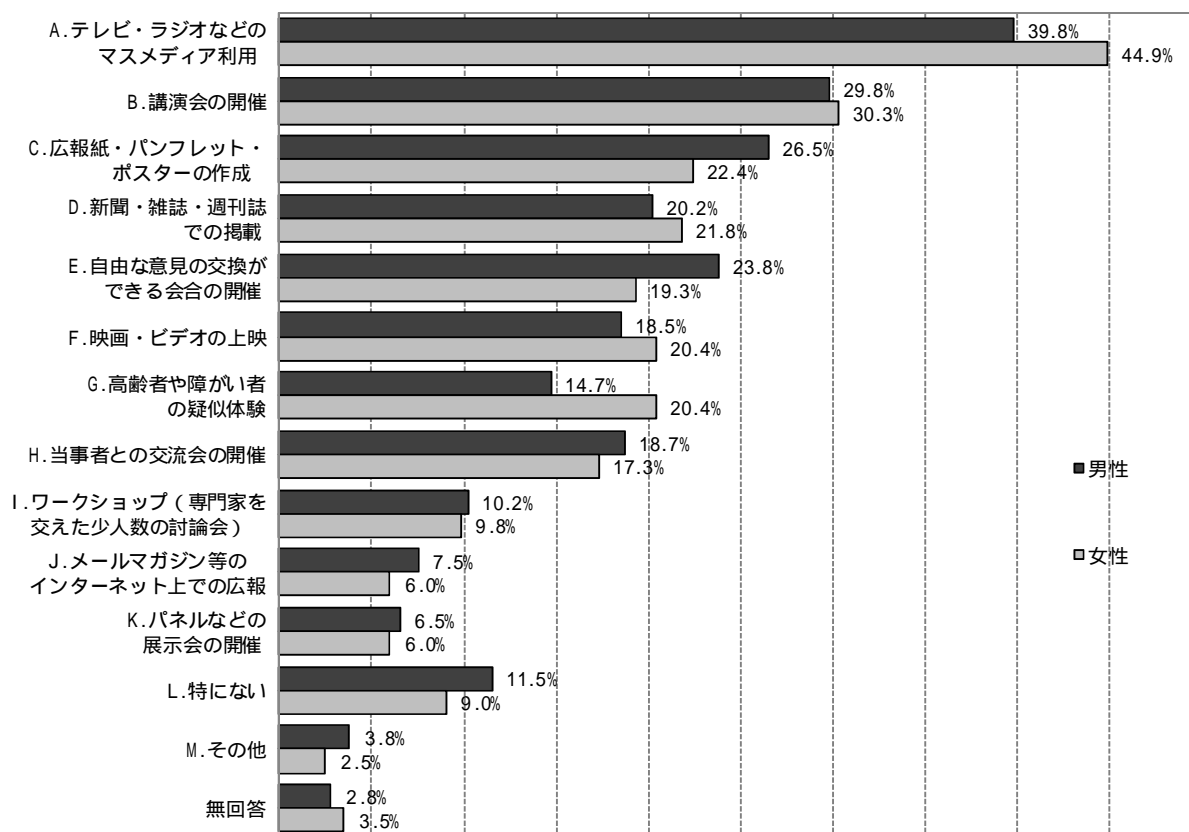


■県民が人権問題への理解を深めるために重要な啓発手法は、「A. テレビ・ラジオなどのマスメディア利用」(42.3%)が最も高い。次いで「B. 講演会の開催」(29.8%)、「C. 広報紙・パンフレット・ポスターの作成」(23.8%)などとなっている。

前回調査なし

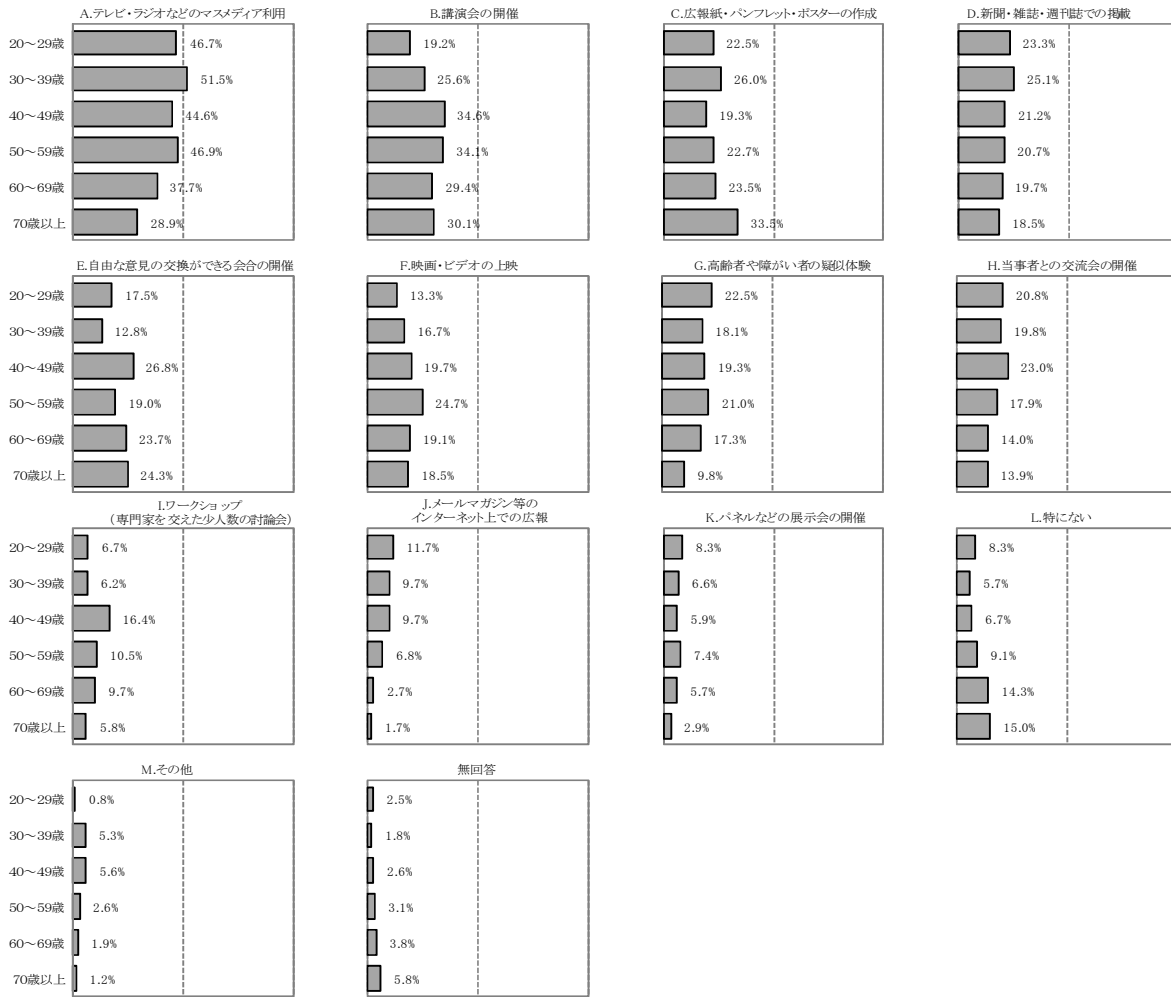
【性別・年齢・職業との関係】

〔図 10-1〕 問 10 人権問題への理解を深めるために必要な啓発手法 と 性別 の関係



性別でみると〔図 10-1〕、女性の回答率が男性を上回っているのは、「A. テレビ・ラジオなどのマスメディア利用」、「G. 高齢者や障がい者の疑似体験」など。一方、男性の回答率が女性を上回っているのは、「C. 広報紙・パンフレット・ポスターの作成」、「E. 自由な意見の交換ができる会合の開催」などである。

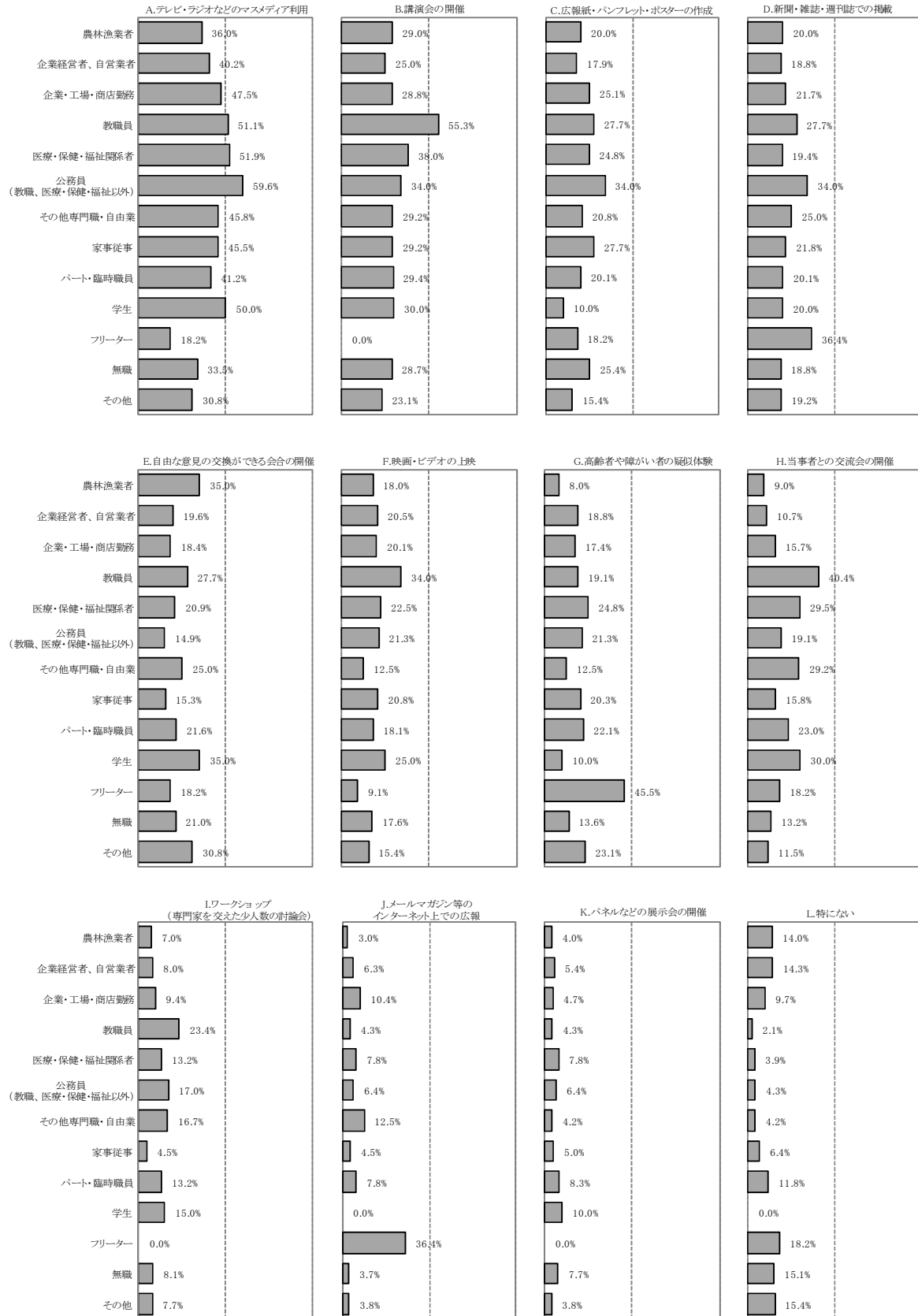
〔図 10-2〕 問 10 人権問題への理解を深めるために必要な啓発手法 と 年齢 の関係

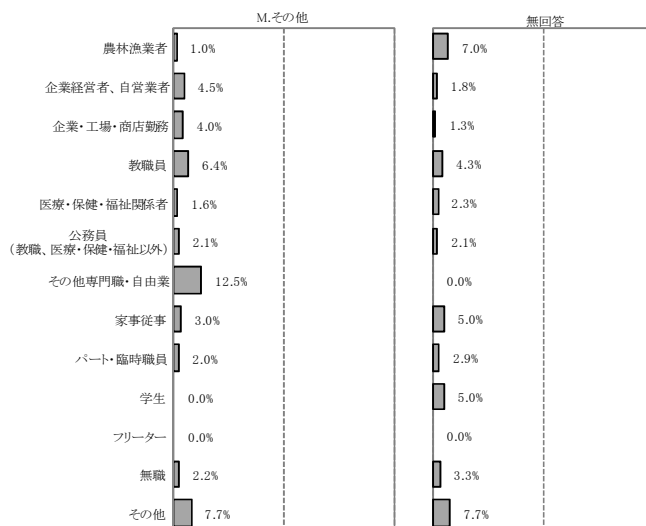


年齢別でみると〔図 10-2〕、「A. テレビ・ラジオなどのマスメディア利用」が 20 歳代から 60 歳代で最も高く、20 歳代から 50 歳代で 4 割を超えている。

また、「C. 広報紙・パンフレット・ポスターの作成」は 70 歳以上(33.5%)が最も高くなっている。

〔図 10-3〕 問 10 人権問題への理解を深めるために必要な啓発手法 職業 の関係





職業別でみると〔図 10-3〕、教職員では「B.講演会の開催」(55.3%)、「F.映画・ビデオの上映」(34.0%)、「H.当事者との交流会の開催」(40.4%)、「I.ワークショップ(専門家を交えた少人数の討論会)」(23.4%)が他の職業に比べて高くなっており、フリーターでは「G.高齢者や障がい者の疑似体験」(45.5%)、「J.メールマガジン等のインターネット上での広報」(36.4%)が他の職業より高くなっている。

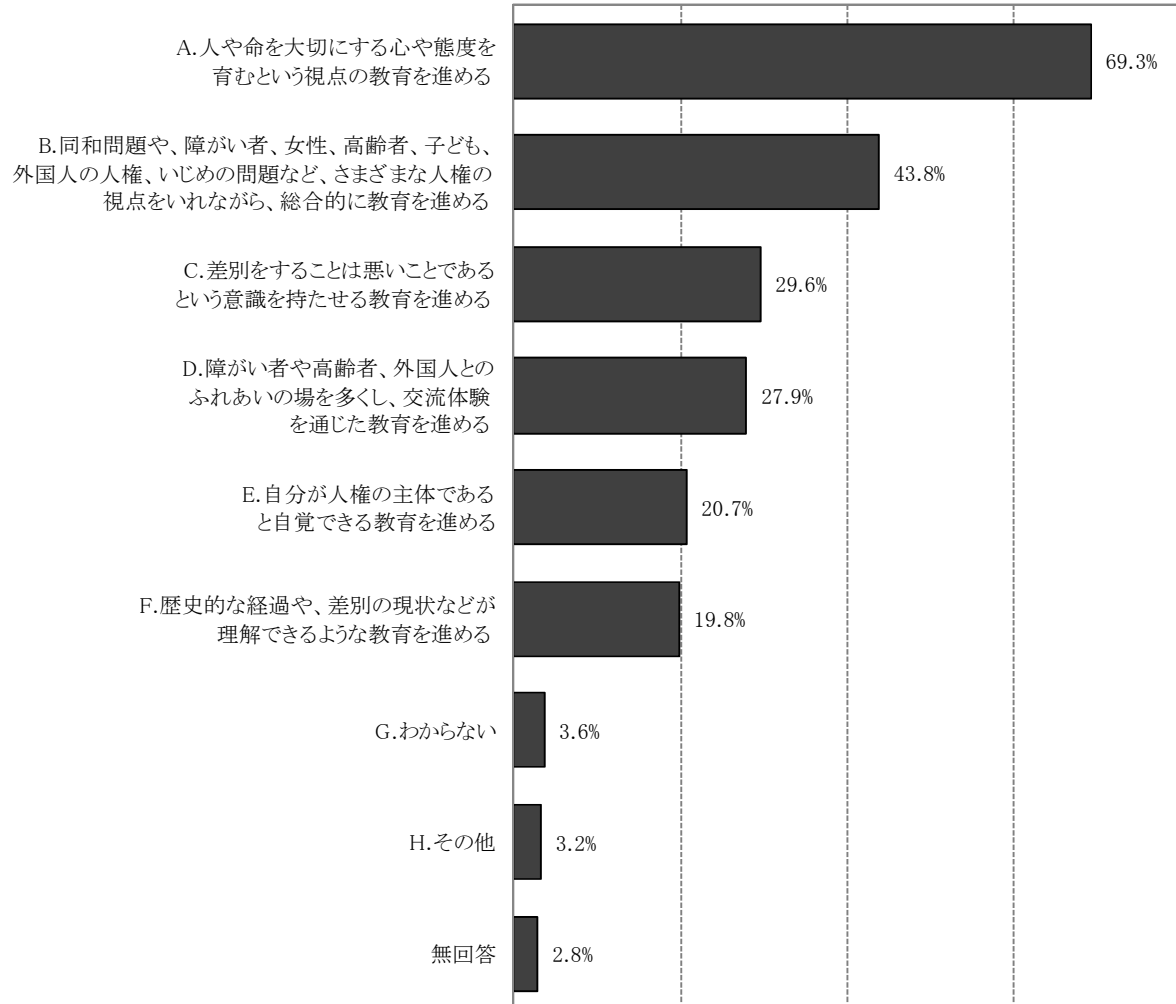
また、「E.自由な意見の交換ができる会合の開催」では、農林漁業者(35.0%)、学生(35.0%)が高くなっている。

(注)

このページは、見開き表示のために挿入した空白ページです。

問 11（人権尊重の心を育むために必要な学校教育）

人権を尊重する心や態度を育むために、学校教育においてどのような教育を行ったらよいと思いますか。あなたの経験や現在の子どもを取り巻く状況などから判断してあなたの考えに近いものをお答えください。（ は3つ以内）

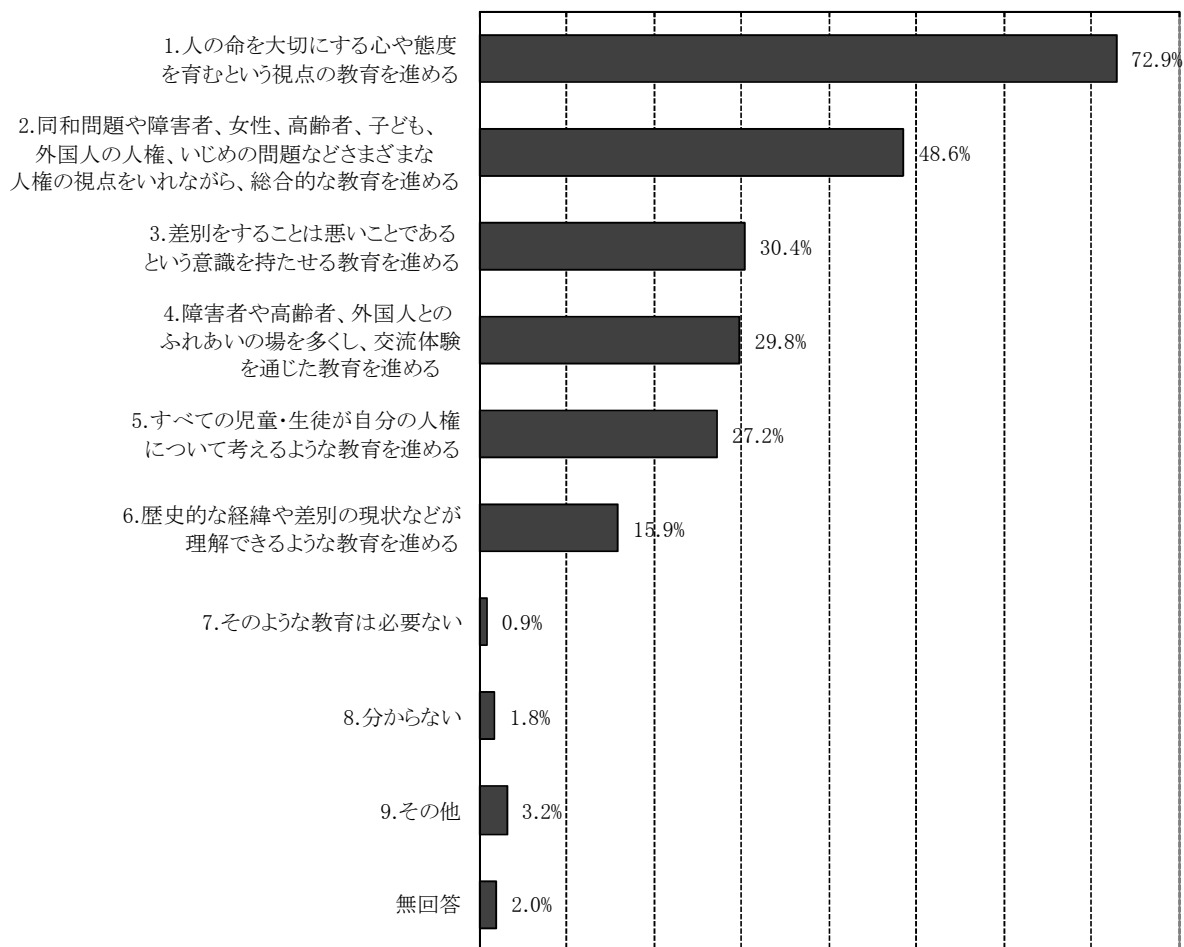


■人権を尊重する心や態度を育むために必要な学校教育について、「A.人や命を大切にしている心や態度を育むという視点の教育を進める」(69.3%)が最も高い。次いで「B.同和問題や、障がい者、女性、高齢者、子ども、外国人の人権、いじめの問題など、さまざまな人権の視点をいれながら、総合的に教育を進める」(43.8%)などとなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

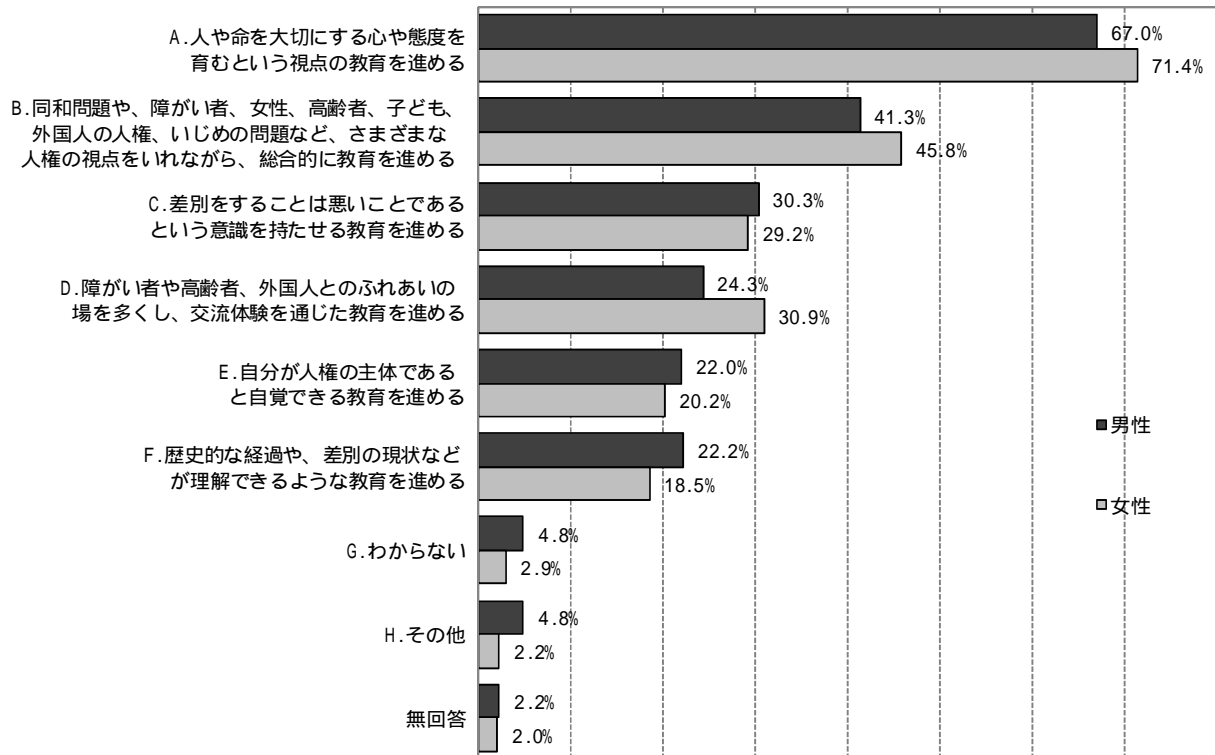
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問 10 人権を尊重する心や態度を育むために、学校教育においてどのような教育を行ったらよいと思いますか。あなたの経験や現在の子どもを取り巻く状況などから判断して特にあなたの考えに近いものをお答えください。（ は3つ以内



【性別・年齢との関係】

〔図 11-1〕 問 11 人権尊重の心を育むために必要な学校教育 と 性別 の関係



性別でみても〔図 11-1〕、男女ともに「A. 人や命を大切にする心や態度を育むという視点の教育を進める」(男性 67.0%、女性 71.4%) が最も高い。次いで「B. 同和問題や、障がい者、女性、高齢者、子ども、外国人の人権、いじめの問題など、さまざまな人権の視点をいれながら、総合的に教育を進める」(男性 41.3%、女性 45.8%) となっている。